



県章

周囲は富士山と武田菱を用い麗しい郷土を象徴しており、中の山は3つの人文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現しています。
(昭和41年10月1日告示)



県旗

優雅なブドウ色を地に用い、中の山は県民の和と協力を、周りの富士山は清廉潔白、純粋性を表しています。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の無限の向上を願ったものです。
(昭和41年12月1日告示)



県名の由来

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国は、明治4年11月、廃藩置県で「山梨県」となりました。「やまなし」の由来は、果物のヤマナシがたくさん採れたから、山をならして平地にした「山ならし」からきているなどいくつかの説があります。



YAMANASHI

県のロゴマーク

四角すいにデフォルメした富士山の右側に新緑の山々、左側に県に流れる清流と、ブドウの紫色を配したデザインで、自然豊かな山紫水明の山梨を表現しています。



県の花【フジザクラ】

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩ります。木はあまり大きくならず、花びらも小型で下向き加減に開きます。厳しい富士の風雪に耐えて、つつましくやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。
(昭和29年制定)



県の鳥【ウグイス】

春を告げる鳥として、昔から愛され親しまれています。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるといった優しい習性を持っています。このことから「明朗と慈愛」を表しています。
(昭和39年6月制定)



県の獣【カモシカ】

国指定の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ツ峠などの山岳地帯に生息します。高山の厳しい自然に耐えて生きていることから「忍耐と努力」を表しています。
(昭和39年6月制定)



県の木【カエデ】

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉します。本県の山などを美しく彩るそのさまは「山々の男ぶり見よ甲斐の秋(虚子)」などと詠まれています。
(昭和41年9月制定)

令和6年3月山梨県発行

〒400-8501
山梨県甲府市丸の内1-6-1
山梨県広聴広報グループ
TEL 055-223-1339



山梨県の
あらまははこちら



この製品は、FSC®認証材および管理原材料からつくられています。
印刷：(株)サンニチ印刷

山梨県の あらまし 2024

YAMANASHI FACTS AND FIGURES



YAMANASHI
FACTS AND
FIGURES

春 Spring

花の森公園の季節の花と
こいのぼり(北杜市)



夏 Summer

富士川クラフトパークの噴水場
(身延町)



秋 Autumn

日本三奇橋の一つ「猿橋」と紅葉
(大月市)



冬 Winter

映東地域を彩る枯露柿のカーテン
(甲州市)



発刊のことば

山梨県は、東京圏に隣接した高い利便性と、富士山をはじめとする山々や清らかな水、恵まれた日照などの自然環境、高品質な食材に裏打ちされた豊かな食文化、高い技術と伝統を持つ地場産業や高レベルな研究開発を背景にした先端技術産業など、多くの地域資源を併せ持った全国でも希有な地域です。また、世界遺産や日本遺産、世界農業遺産、ユネスコエコパークなど、先人たちが守り育ててきた数々の文化・伝統・自然を有しています。これらの資源を磨き上げ、新たなブランド価値を作り上げるため、本県では「ハイクオリティやまなし」をキャッチフレーズにプロモーション戦略を展開しています。

本県は、リニア中央新幹線の開通や中部横断自動車道の全線開通に向けた取り組みが進展し、今後大きな転換点を迎えようとしています。県では、この転換を大きなチャンスと捉え、先手先手で打って出て、山梨を豊かにしていくためのあ

ゆるる施策を講じています。県内で暮らす方や山梨で挑戦をしようとする方のあらゆる障壁を取り除き、安心して生活しチャレンジできる環境を整えるとともに、多様な背景を持つ方々との交流を深め、それぞれの能力をいかんなく発揮し活躍できる、国内外に開かれた地域づくりを進めています。また、急速に進むグローバル化や人口減少危機の本格化など、喫緊の課題にも対応しています。

この冊子は、本県の今の姿を分かりやすく紹介するものとして刊行しました。私たちが誇りに思う山梨県がどのような地域なのかを知っていただくとともに、本県の持つ魅力やポテンシャルに触れ、関心を深めていただければ幸いです。本書をきっかけとして一人でも多くの方に「ふるさと山梨」を豊かにするための取り組みに参画いただき、さまざまな方との知恵の交流によって、山梨が将来にわたり輝き続けることを期待します。

Contents

■山梨の姿		■山梨の魅力	
地勢	3	山梨の文化財	29
面積・人口・市町村	5	山梨の逸品	31
近現代 主な出来事	7	山梨の郷土食	33
国際交流	8	■主な県立施設ガイド	35
データで知るやまなし	9	■山梨散策	37
ハイクオリティやまなし	13		
交通ネットワーク	22		
世界遺産	23		
日本遺産	25		
世界農業遺産	27		
ユネスコエコパーク	28		



山梨県知事 長崎 幸太郎

地勢 Geographical Features

■甲府盆地から北を眺めると



山梨県は周囲を急峻な山々に囲まれています。
 北東部に秩父山塊、西部に3,000m級の山々からなる南アルプス、南部には世界遺産富士山、そして北部には八ヶ岳、茅ヶ岳が広い裾野をひいています。
 これらの山地は山岳、森林、湖沼、溪谷などの優れた景観に富み、富士箱根伊豆国立公園などの自然公園にも指定されています。

主な川 富士川は、日本三大急流の1つです。

	(流路延長)		(流路延長)
富士川 <small>(釜無川を含む)</small>	122.40km	日川	28.40km
早川	61.00km	鶴川	24.05km
桂川	52.85km	芦川	23.64km
笛吹川	46.50km	道志川	20.00km
荒川	34.00km	多摩川 <small>(丹波川を含む)</small>	19.74km
塩川	33.06km		

(注)流路延長は山梨県内分 資料:河川表

主な湖沼

	(面積)	(標高)	(深さ)	(周囲)
山中湖	6.57km ²	980.5m	12.9m	12.9km
河口湖	5.49km ²	830.5m	14.0m	19.9km
本栖湖	4.70km ²	900.0m	121.2m	12.9km
西湖	2.10km ²	900.0m	71.5m	10.0km
精進湖	0.51km ²	900.0m	12.6m	6.1km

資料:国土地理院 資料:河川表

主な山 日本の高い山トップ3が山梨にあります。

	(標高)		(標高)
1位 富士山	3,776m	駒ヶ岳	2,967m
2位 北岳	3,193m	赤岳	2,899m
3位 間ノ岳	3,190m	観音ヶ岳	2,841m
仙丈ヶ岳	3,033m	薬師ヶ岳	2,780m
農鳥岳	3,026m	地藏ヶ岳	2,764m
		鳳凰三山	

資料:国土地理院

自然公園 6つの自然公園の面積は、県土の約3割を占めています。

	(面積)	(関係市町村)	(指定年月日)
富士箱根伊豆国立公園	36,796ha	富士吉田市外6町村	昭和11年2月 1日
秩父多摩甲斐国立公園	46,834ha	甲府市外4市2村	昭和25年7月10日
南アルプス国立公園	18,286ha	韮崎市外2市1町	昭和39年6月 1日
八ヶ岳中信高原国立公園	4,088ha	北杜市	昭和39年6月 1日
県立四尾連湖自然公園	362ha	市川三郷町	昭和34年4月 2日
県立南アルプス巨摩自然公園	14,841ha	韮崎市外2市3町	昭和41年4月 1日

(注)面積は山梨県分 資料:環境省自然環境局

■甲府盆地から西を眺めると



■甲府盆地から北東を眺めると



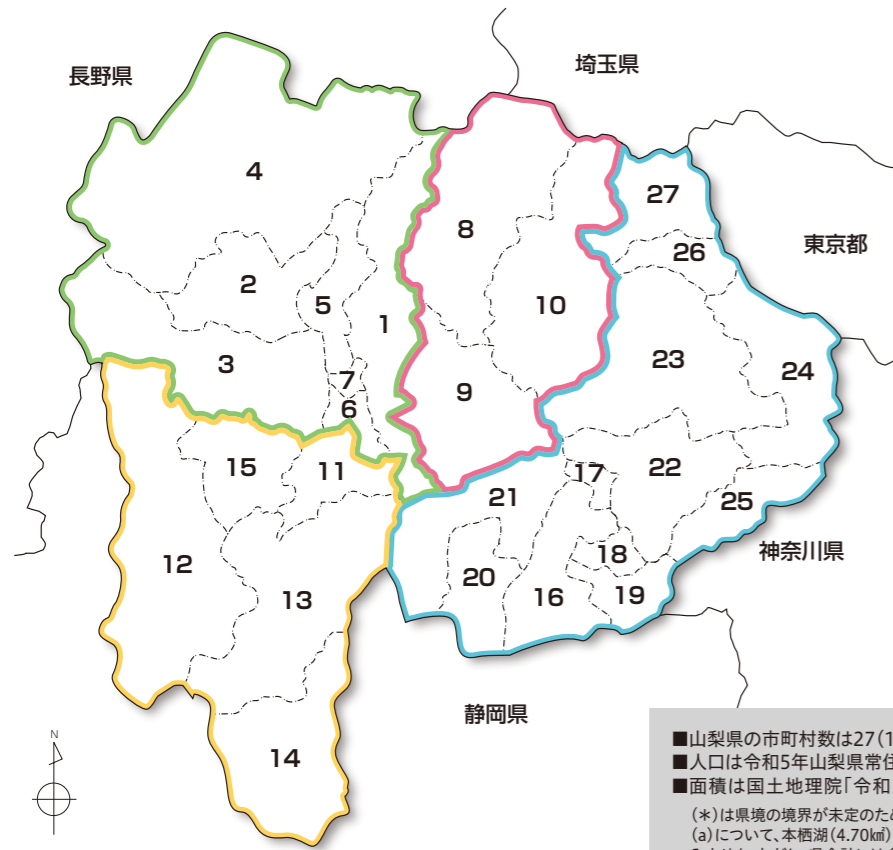
■甲府盆地から南東を眺めると



面積・人口・市町村

Area, Population, and Local Municipalities

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。面積は日本の総面積377,974.79km²（令和5年10月1日現在）の約85分の1に当たり、県土の約78%を森林が占めています。



総面積
*4,465.27km²
全国 第32位
(令和5年10月1日現在)

総人口
795,544人
(令和5年10月1日現在)

■山梨県の市町村数は27(13市8町6村)です。
■人口は令和5年山梨県常住人口調査(令和5年10月1日現在)によります。
■面積は国土地理院「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」によります。
(*)は県境の境界が未定のため、便宜上の概算数値である参考値を記載しています。
(a)について、本栖湖(4.70km²)は、水面が境界未定のため、身延町と富士河口湖町の面積には含みません。ただし、県合計には含みます。
四捨五入の関係で、総数と内訳の合計が必ずしも一致しません。

市町村の境界
県の境界
(令和5年3月31日現在)
資料：国土地理院

<p>峡東地域</p>	<p>8 山梨市 面積:289.80km²/人口:32,337人 新日本三大夜景・笛吹川フルーツ公園のほか、西沢渓谷など豊かな自然、農村景観が魅力。</p>	<p>9 笛吹市 面積:201.92km²/人口:65,498人 モモ・ブドウの栽培面積、収穫・出荷量日本一。モモの花が満開の春は絶景。</p>	<p>10 甲州市 面積:264.11km²/人口:28,026人 日本ワイン発祥の地として日本遺産に認定。歴史的な文化財を多く有する。</p>
<p>峡南地域</p>	<p>11 市川三郷町 面積:75.18km²/人口:13,911人 大塚にんじん、和紙、花火、印章などの特産品や文化的資源にあふれた魅力の多いまち。</p>	<p>12 早川町 面積:369.96km²/人口:973人 大自然に恵まれたまち。地場産業では七百有余年の歴史をもつ雨畑硯が有名。</p>	<p>13 身延町 面積:301.98km²(a)/人口:9,614人 身延山久遠寺や下部温泉郷などで知られる。あじがほの大豆と西嶋和紙が特産品。</p>
<p>14 南部町 面積:200.87km²/人口:6,623人 県の最南端に位置する。温暖な気候を生かして栽培される南部茶が特産品。</p>	<p>15 富士川町 面積:112.00km²/人口:13,639人 高下地区では「ダイヤモンド富士」が拝める。大法師の桜やゆず、郷土料理みみりが有名。</p>	<p>富士北麓地域</p> <p>16 富士吉田市 面積:121.74km²(*)/人口:45,137人 富士山信仰が息づく織物が盛んなまち。名物は硬さが自慢の吉田のうどん。</p>	
<p>17 西桂町 面積:15.22km²/人口:3,829人 三ツ峠は高山植物の宝庫。登山やロッククライミングを楽しめる場所が多い。</p>	<p>18 忍野村 面積:25.05km²/人口:9,336人 世界文化遺産・富士山の構成資産である忍野八海は、国内外の観光客に人気。</p>	<p>19 山中湖村 面積:53.05km²/人口:5,138人 富士山が「間近にそびえ、標高1,000メートルに位置する高原リゾート地。涼しい夏に観光客が多く訪れる。</p>	<p>20 鳴沢村 面積:89.58km²(*)/人口:2,778人 標高1,000メートルの自然豊かな環境で育った新鮮な高原野菜やブルーベリーが有名。</p>
<p>21 富士河口湖町 面積:158.40km²(a)/人口:26,365人 富士五湖のうち4湖を有する日本屈指の景勝地。温泉郷としても有名。</p>	<p>東部地域</p> <p>22 都留市 面積:161.63km²/人口:30,101人 歴史絵巻を紡ぐ富士の麓の小さな城下町つる。都留市二十一秀峰の山々や都留アルプス登山も人気。</p> <p>23 大月市 面積:280.25km²/人口:21,063人 日本三奇橋の一つ猿橋があるまち。歌川広重の浮世絵にも描かれ、四季折々の美しい景観が楽しめる。</p>		
<p>24 上野原市 面積:170.57km²/人口:21,700人 県の最東部。「都心から1時間！自然と都市とのほどよい距離感」が魅力。</p>	<p>25 道志村 面積:79.68km²/人口:1,499人 クレソンの産地として知られ、キャンプ場の多さは日本有数。</p>	<p>26 小菅村 面積:52.78km²/人口:615人 東京都に隣接する多摩川源流の地。源流域の豊かな自然は、四季を問わず訪れた人々を魅了。</p>	<p>27 丹波山村 面積:101.30km²/人口:503人 自然豊かな山村。伝統文化の祭事が催されるほか、舞茸やジビエなどの特産品を味わうことができる。</p>

<p>中北地域</p>	<p>1 甲府市 面積:212.47km²/人口:187,457人 県庁所在地。地場産業の水晶研磨などの宝飾産業は世界的に高い評価を誇る。</p>	<p>2 韮崎市 面積:143.69km²/人口:28,288人 「甲斐武田家」発祥の地。甘利山のレンゲツツジなど、四季折々の景色を楽しめる。</p>	<p>3 南アルプス市 面積:264.14km²/人口:69,638人 市名の由来である南アルプスの麓に位置し、サクランボやスモモ、ブドウなどの果物栽培が盛ん。</p>
<p>4 北杜市 面積:602.48km²/人口:43,225人 八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、瑞牆山などの山々が魅力。日本有数のミネラルウォーターの生産地。</p>	<p>5 甲斐市 面積:71.95km²/人口:75,827人 やはたもや甲斐のぎゅぎゅっとねぎ、赤坂とまとなど、地元ブランド野菜の特産品が充実。</p>	<p>6 中央市 面積:31.69km²/人口:30,916人 県の中央部に位置する。トマト、スイートコーンなどの栽培が盛んで都市機能も充実。</p>	<p>7 昭和町 面積:9.08km²/人口:21,508人 甲府昭和インター開設により区画整備が推進され、住宅地や商業地が整う。</p>

History 山梨の近現代 主な出来事



明治10年落成当時の山梨県庁



新笹子トンネル開通



アイオワ州と山梨県が姉妹県と書かれた飛行機



オリンピックの自転車競技ロードレースで県内を走る選手ら

明治

- 元年 (1868) 官軍甲府入城、甲斐府を置く
- 2年 (1869) 甲斐府を廃し甲府県とする
- 4年 (1871) 甲府県を山梨県に改める
- 5年 (1872) 大小切騒動が起こる
- 6年 (1873) 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる (翌年県令となる)
- 10年 (1877) 山梨県庁落成。第十国立銀行設立
- 13年 (1880) 明治天皇巡幸
- 36年 (1903) 中央線が甲府駅まで開通
- 44年 (1911) 御料林を山梨県へ御下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通

大正

- 元年 (1912) 県恩賜県有財産管理規則制定
- 9年 (1920) 恩賜記念の謝恩碑が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3,453人

昭和

- 3年 (1928) 富士身延鉄道(現在の身延線)全線開通。県議会議事堂完成
- 5年 (1930) 県庁新庁舎(現在の別館)完成
- 6年 (1931) 中央線甲府～新宿間電化
- 7年 (1932) 富士山測候所開設
- 16年 (1941) 身延線国有化
- 20年 (1945) 甲府空襲、全市の74%が焦土と化す
- 25年 (1950) 「山梨県の歌」決まる。

- 33年 (1958) 第1回植樹祭を山梨県で開催
- 35年 (1960) 国道20号に新笹子トンネル開通
- 38年 (1963) アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結
- 39年 (1964) 県庁舎本館完成(内藤多仲ら設計)
- 44年 (1969) 富士山有料道路(スパルライン)開通
- 45年 (1970) 中央自動車道富士吉田線開通
- 45年 (1970) 第1回信玄祭り開催
- 53年 (1978) 県立美術館開館
- 57年 (1982) 中央自動車道全線開通
- 61年 (1986) かいじ国体、ふれあいのかいじ大会開催

平成

- 元年 (1989) リニア新実験線建設地が山梨に決定
- 8年 (1996) 地方病の流行終息宣言
- 10年 (1998) 雁坂トンネル開通
- 15年 (2003) 「平成の大合併」県内第1号として、新・南部町誕生
- 17年 (2005) 山梨県立大学開学
- 25年 (2013) 「富士山」世界文化遺産登録
- 26年 (2014) 豪雪災害の発生
- 27年 (2015) 山梨近代人物館開館

令和

- 元年 (2019) 山梨「ワイン県」宣言
- 2年 (2020) 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行
- 3年 (2021) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催。山梨県が初めてオリンピック競技の開催地となる。中部横断自動車道 山梨～静岡間全線開通
- 4年 (2022) 「峡東地域の果樹システム」世界農業遺産登録
- 5年 (2023) 「無生野の大念仏」ユネスコ無形文化遺産登録
- ベトナム社会主義共和国クアンビン省と姉妹締結
- 人口が43年ぶりに80万人割れ。「人口減少危機突破宣言」



恩賜記念の謝恩碑



美術館の一般公開に訪れた県民たち



開通した中部横断自動車道

International Relations 国際交流

■問い合わせ先 国際戦略グループ TEL 055-223-1435

山梨県は現在までに世界各地の6都市と姉妹・友好締結を行っています。外国人と日本人が互いの文化や考え方の違いを認め合う共生社会の実現を目指すとともに、行政だけでなく、民間が主導する友好関係を築くことで、新たなビジネスの創出や観光による消費拡大などにつなげ、国際交流の恩恵を県民の皆さんに実感してもらえる姉妹都市交流を推進しています。

姉妹州
アメリカ合衆国 アイオワ州
1960(昭和35)年3月14日締結

本県が昭和34年の台風で甚大な被害を受けたとき、同州から見舞いとして農畜産物が贈られたことが姉妹締結の直接の契機となりました。都道府県が結ぶ姉妹関係としては、わが国での草分けです。近年は同州で行われているベーコンフェスティバルを本県でも開催するなど、食文化を通じた民間の交流も行われています。

- 人口 320万人(2022年)
- 面積 14万5千km²
- 州都 デモイン市
- 農業 トウモロコシ、大豆、豚、鶏卵、牛
- 工業 機械、食品、化学、バイオテクノロジー

姉妹州
ブラジル連邦共和国 ミナス・ジェライス州
1973(昭和48)年7月25日締結

研磨・宝飾産業が盛んな本県に対し、同州は貴金属の原石供給地であることから姉妹締結を行いました。本県とは地球の反対側に位置し、中南米における国際交流活動推進の拠点となっています。古都オウロ・プレットやパンブーリアの近代建築群をはじめ、4つの世界遺産を有する観光地でもあります。

- 人口 2,054万人(2022年)
- 面積 58万7千km²
- 州都 ペロオリゾンテ市
- 農業 牧畜、コーヒー、大豆、サトウキビ、トウモロコシ
- 工業 鉱業、製鉄、セメント、自動車

作者(Adelano Lázaro)

友好省
中華人民共和国 四川省
1985(昭和60)年6月18日締結

共に内陸部にあり、富士山、峨眉山等の名山を有するなど類似点が多く、民間レベルで活発に交流活動が行われていたことが契機となり、友好県省の締結を行いました。省都である成都市は、中国西南部地域の商業貿易・金融・化学技術の中心地でもあり、西部大開発の中心拠点都市として発展しています。

- 人口 8,367万人(2020年)
- 面積 48万6千km²
- 省都 成都市
- 農業 水稻、菜種、生糸、馬鈴しょ、養豚、茶、野菜
- 工業 飲料、農産物加工、医薬品、IT、自動車

姉妹道
大韓民国 忠清北道
1992(平成4)年3月27日締結

ライオンズクラブやロータリークラブなどの民間交流をきっかけに、甲府商工会議所と清州商工会議所の姉妹締結を経て、両県道の姉妹締結に至りました。国の中央に位置する利点に加え、高速鉄道や清州国際空港、工業団地などのインフラ整備により、未来成長産業の中心地として活気ある経済活動が展開されています。

- 人口 164万人(2022年)
- 面積 7千4百km²
- 道都 清州市
- 農業 ブドウ、高麗人参、畜産物加工品、唐辛子、リンゴ
- 工業 半導体、電機電子、バイオテクノロジー、化学

姉妹県
フランス共和国 ソーヌ・エ・ロアール県
2000(平成12)年4月7日締結

フランスを代表するワインの産地であるブルゴーニュ地方南部に位置し、ソーヌ川とロアール川がゆったりと流れ、なだらかに連なる丘と豊かな田園風景が印象的です。ワインと食を目的とした観光や、サイクルツーリズムが盛んです。

- 人口 55万人(2021年)
- 面積 8千6百km²
- 県都 マコン市
- 農業 ワイン、シャロレー牛、羊、プレス地鶏、チーズ
- 工業 金属、機械、食品加工

姉妹省
ベトナム社会主義共和国 クアンビン省
2023(令和5)年9月19日締結

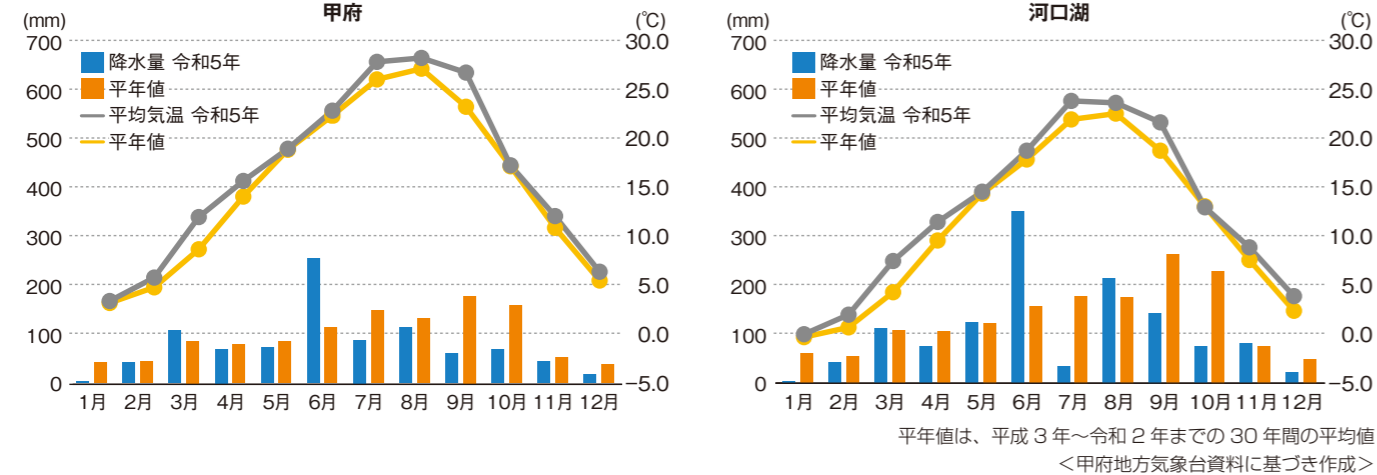
ベトナム政府訪問団の来県をきっかけに交流が始まり、令和5年に姉妹友好県省を締結しました。ベトナム国内でも有数の観光地であり、大小約300の鍾乳洞や原生林で形成される世界遺産のフォンニャクハム国立公園が有名です。姉妹友好県省の締結を契機に、今後幅広い分野での交流が期待されています。

- 人口 91万人(2022年)
- 面積 8千km²
- 省都 ドンホイ市
- 農業 水稻、とうもろこし、さつまいも
- 工業 風力・太陽光発電、セメント、冷凍魚、天然ゴム、合成ゴム

Data File データで知るやまなし

気候

月別平均気温と降水量(令和5年と平年)



全国から見た山梨の気象

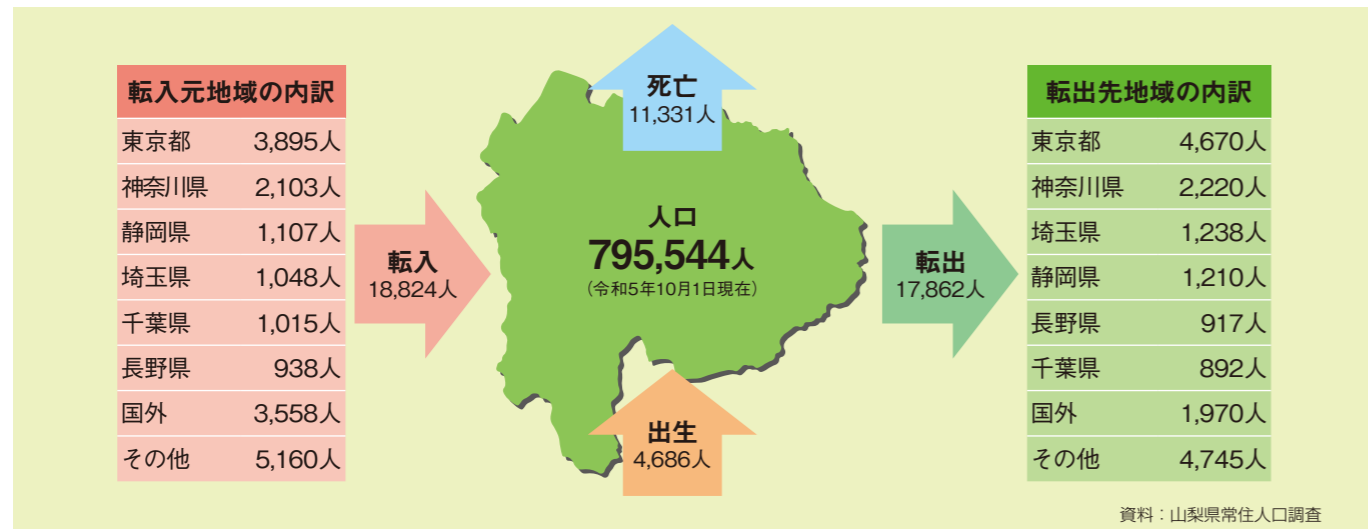
項目	比較年	単位	本県		全国最高値		全国最低値	
			指標値	順位				
日照時間(年間)	4年	時間	2298.1	3	大阪府	2319.6	沖縄県	1588.8
降水量(年間)	4年	mm	1019.5	43	沖縄県	2996.5	香川県	667.5
降水日数(年間)*	4年	日	98	28	新潟県	171	広島県	69
年平均気温	4年	℃	15.7	30	沖縄県	23.7	北海道	10.2
最高気温(日最高気温の月平均の最高値)	4年	℃	33.0	19	香川県	34.3	北海道	27.3
最低気温(日最低気温の月平均の最低値)	4年	℃	-2.9	6	岩手県	-6.4	沖縄県	15.1
年平均相対湿度	4年	%	67	37	沖縄県	80	広島県	60

*「降水日数」は、日降水量が1.0mm以上の日数

資料：統計でみる都道府県のすがた 2024（総務省統計局）

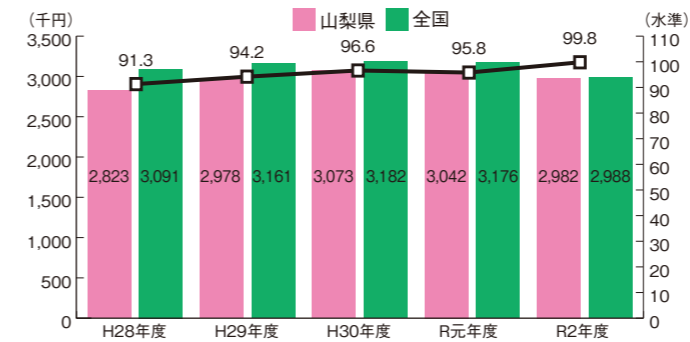
人口動態

令和4年10月1日～令和5年9月30日



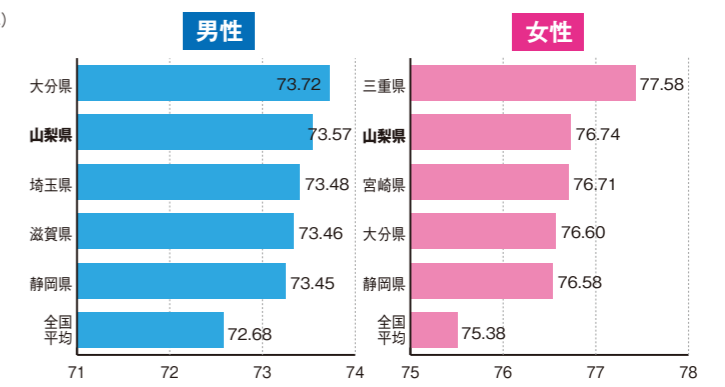
県民生活

1人当たり県(国)民所得と全国との水準の推移

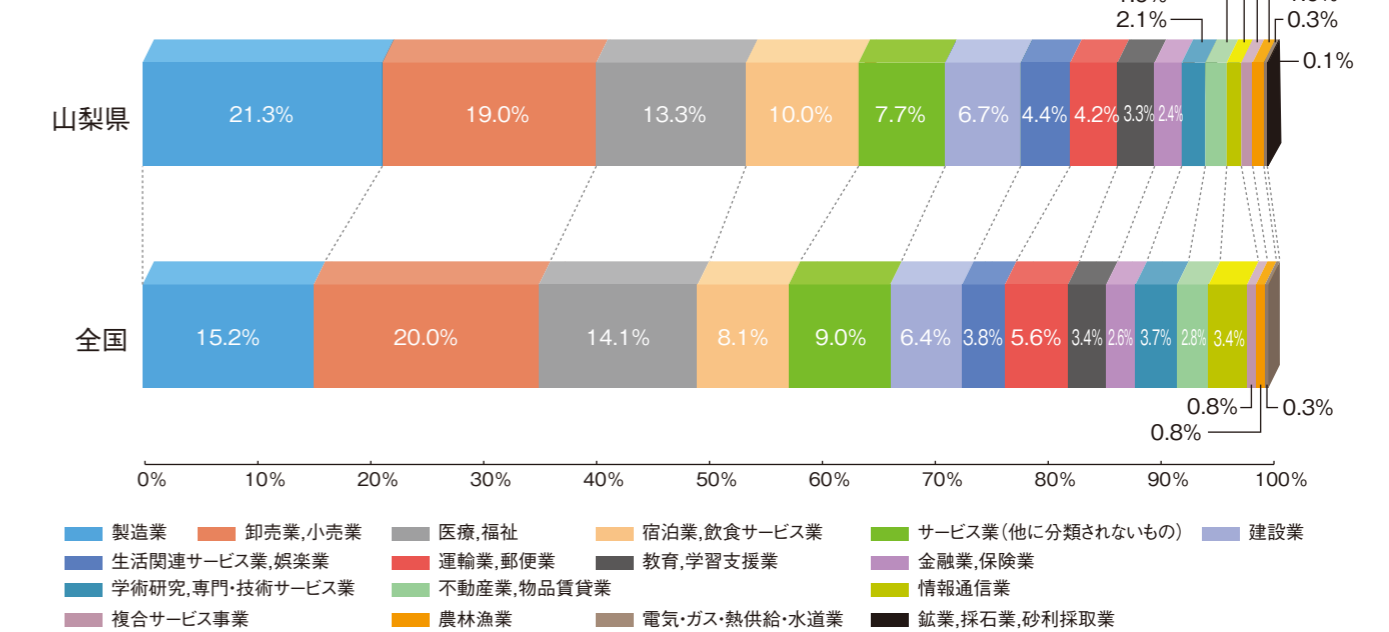


注) 1人当たり県民所得は「県民雇用者報酬、財産所得、企業所得」により構成されている県民所得を総人口で除したものである。したがって個人の給与や実収入額などとの比較はできない。折れ線グラフは1人当たり国民所得を100とした場合の県民所得の水準の推移である。

健康寿命(令和元年)



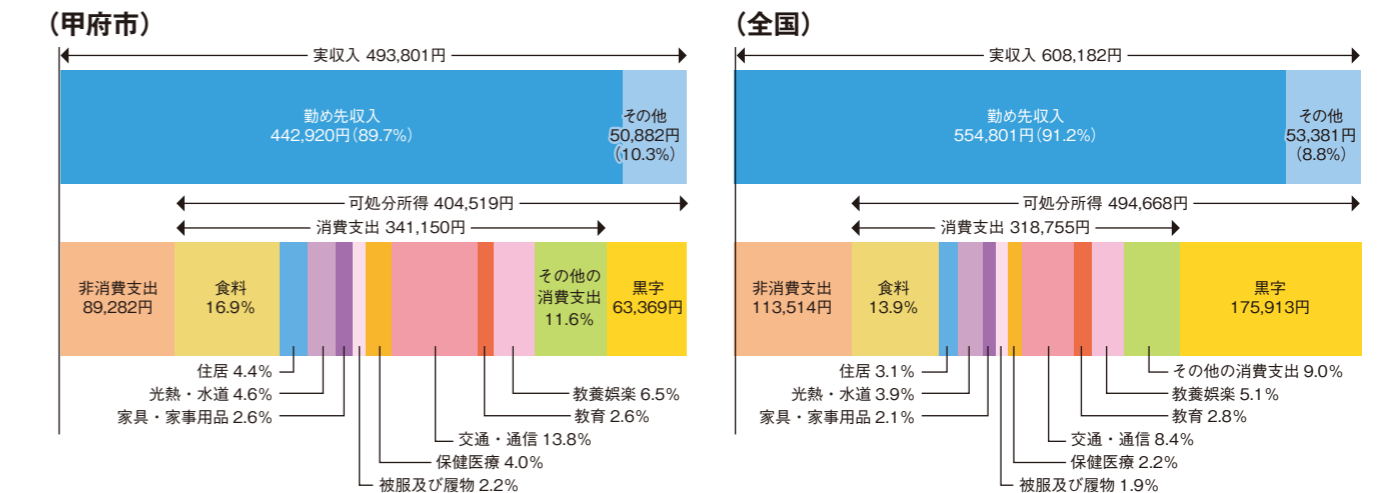
産業別従業者数構成比(令和3年)



*単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。

資料：令和3年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)

2人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支(令和5年)



注) 1 図中の「勤め先収入」及び「その他」の割合(%)は、実収入に占める割合である。
2 図中の「食料」から「その他の消費支出」までの割合(%)は、消費支出に占める割合である。
3 図中の「消費支出」のうち、他の世帯への贈答品やサービスの支出は「その他の消費支出」に含まれている。

*単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。

資料：家計調査(総務省)

魅力や意外な事実を紹介！

統計でみる山梨県の全国トップ3


標高



第1位 3,776m (富士山)
第2位 3,193m (北岳)
第3位 3,190m (間ノ岳)

国土地理院ホームページ


平均標高



第2位 995m

国土地理院ホームページ


日照時間



令和4年度
第3位 2,298.1時間 (年間)

統計でみる都道府県のすがた2024 (総務省統計局)

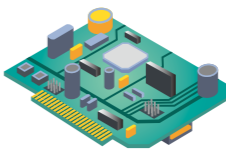
ロボット製造業 出荷額



令和3年
第1位 4,535億円

2022年経済構造実態調査 (経済産業省)

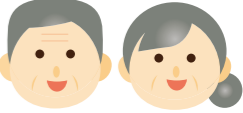
半導体・IC測定器 出荷額



令和2年
第3位 667億円

令和3年経済センサス-活動調査 (総務省・経済産業省)


健康寿命



令和元年
第2位 73.57年 (男性)
第2位 76.74年 (女性)

厚生科学審議会第16回健康日本21 (第二次) 推進専門委員会 (厚生労働省)

多目的 運動広場数 (公共)



令和3年度
第3位 162.7施設 (人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2024 (総務省統計局)

ミネラルウォーター 生産量



令和4年
第1位 1,580千kℓ

日本ミネラルウォーター協会統計資料

ワイナリー数



令和5年
第1位 92事業所

酒類製造業及び酒類卸売業の概況 (令和5年アンケート)


モモ 購入量



令和3年～令和5年平均
第3位 3,695g (1世帯当たり年間)

家計調査 (二人以上の世帯) 「食料購入数量」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

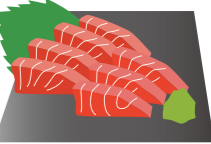
ブドウ支出金額



令和3年～令和5年平均
第1位 7,206円 (1世帯当たり年間)

家計調査 (二人以上の世帯) 「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

マグロ 支出金額



令和3年～令和5年平均
第2位 8,291円 (1世帯当たり年間)

家計調査 (二人以上の世帯) 「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

日本ワイン 生産量



令和4年度
第1位 3,466kℓ

酒類製造業及び酒類卸売業の概況 (令和5年アンケート)

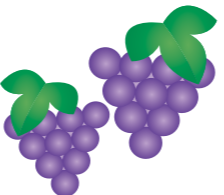
土地生産性



令和3年度
第2位 477.7万円
(耕地面積1ヘクタール当たり)

統計でみる都道府県のすがた2024 (総務省統計局)

ブドウ 生産量



令和4年
第1位 40,800t (年間)

作物統計調査 (農林水産省)

アサリ支出額



令和3年～令和5年平均
第1位 772円 (1世帯当たり平均)

家計調査 (二人以上の世帯) 「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング


カツレツ支出金額



令和3年～令和5年平均
第3位 3,052円 (1世帯当たり年間)

家計調査 (二人以上の世帯) 「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

着工新設持ち家比率 (対着工新設住宅戸数:マイホームを新しく建てる率)



令和4年度
第2位 63.0%

統計でみる都道府県のすがた2024 (総務省統計局)

モモ 生産量



令和4年
第1位 35,700t (年間)

作物統計調査 (農林水産省)

スモモ 生産量



令和4年
第1位 5,940t (年間)

作物統計調査 (農林水産省)

貴金属・宝石製装身具 (ジュエリー) 製品製造業 出荷額



令和3年
第1位 316億円

2022年経済構造実態調査 (経済産業省)

消防水利数



令和4年度
第2位 3,838.8所 (人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2024 (総務省統計局)

図書館数



令和3年度
第1位 65.8館 (人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2024 (総務省統計局)

青少年教育施設数



令和3年度
第3位 16.1所 (人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2024 (総務省統計局)

ハイクオリティやまなし

農業

■問い合わせ先 農政総務課 TEL 055-223-1583

山梨県の農業は、変化に富んだ自然や大消費地の東京圏に近い有利な立地条件を生かしながら、農業者のたゆまぬ努力と「匠の技」などにより、果樹、畜産、野菜、水稲、花き、水産などの特色ある産地を形成しています。中でも果樹は農業生産額の約6割を占め、ブドウ、モモ、スモモは全国一の生産量を誇っています。

さらに、「甲州牛」や「甲州富士桜ポーク」などのブランド食肉の認知度向上や、日本で初めてキングサーモンとニジマスを交配させて誕生した「富士の介」など農畜水産物のブランド化を推進し、本県農畜水産物の高付加価値化に取り組んでいます。

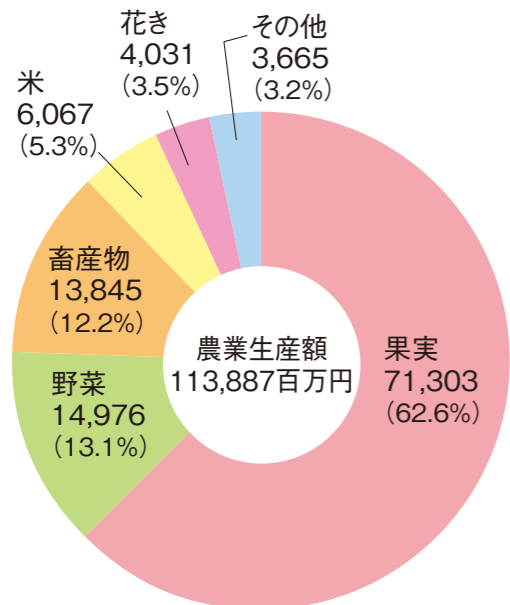


「ぶどう畑の紅葉」撮影場所：甲州市
(第17回やまなし農村風景写真コンクール 山梨県知事賞作品)



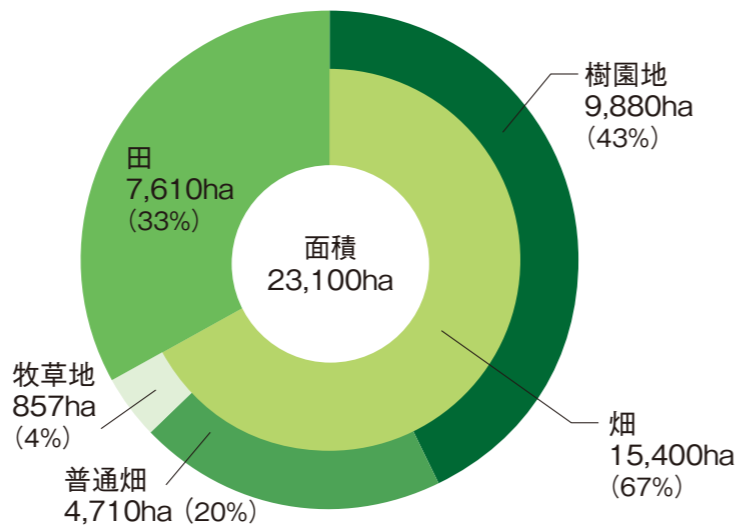
「後光さす棚田」撮影場所：南アルプス市
(第17回やまなし農村風景写真コンクール 審査委員長賞作品)

■農業生産額(令和4年) (単位：百万円)



資料：令和4年農業及び水産業生産額実績（山梨県農政部）
(端数処理により内訳の合計は100%にならない)

■耕地面積(令和5年7月15日現在)



資料：耕地及び作付面積統計（農林水産省）
(統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない。)

おいしい未来へ やまなし

本県は良質な水や長い日照時間、豊かな土壌に恵まれており、高品質な農畜水産物が生産されています。また、脱炭素化に貢献する4パーミル・イニシアチブや家畜の快適性に配慮するアニマルウェルフェアなど、農業分野から持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた取り組みを全国に先駆けて実践しています。

県では、「おいしい未来へ やまなし」をキャッチフレーズに、県産農畜水産物の魅力や価値をPRしています。基準を満たす農畜水産物には、山梨を象徴する富士山に、未来の輝きを表す星の形をかたどったロゴマークを使用することができます。

今後も生産者の所得向上のため、国内消費や輸出のさらなる拡大に向け、プロモーションを積極的に展開し、山梨県の農畜水産物のブランド力をさらに高めています。



県オリジナル品種「サンシャインレッド」「おいしい未来へやまなし」のロゴマーク

4パーミル・イニシアチブ

土壌に炭素を貯留することで、大気中の二酸化炭素濃度を低減し、地球温暖化を抑制する国際的な取り組みである「4パーミル・イニシアチブ」に、本県は令和2年4月から日本の地方自治体として初めて参加しています。本県の主要農作物である果樹の剪定枝を炭化し、土壌に貯留する取り組みを中心に、その対象を野菜や水稲にも拡大し、二酸化炭素濃度の低減に貢献しています。この取り組みにより生産された農産物を認証することで、環境に配慮した農産物としてのブランド化を図り、高付加価値化を目指しています。



ブドウの剪定枝からできたバイオ炭/「4パーミル・イニシアチブ」のロゴマーク

データ農業

近年、担い手の高齢化による労働力不足や温暖化の影響などにより、農産物の生産量や品質の維持が困難になっています。高品質な農産物を安定して生産するには、生育や栽培環境などのデータを収集・解析し、これに基づき栽培管理に取り組むことが必要です。

このため、県では、令和4年度から農産物の生産量を飛躍的に向上させる「データ農業」の技術開発に取り組んでおり、シャインマスカットなどで高品質・安定生産を実践する篤農家の高度な栽培管理データを収集し、匠の技の見える化を進めています。

高品質を維持し、多収生産を可能とするデータ農業技術を早期に確立し、普及を図っていきます。



データでブドウの生育を管理

アニマルウェルフェア

アニマルウェルフェアとは「動物福祉」「家畜福祉」とも訳され、鶏を地面に放して飼う平飼いや牛の放牧など、家畜の快適性に配慮した飼養管理を行うことです。県では認証制度を全国に先駆けて創設しました。講習会の受講などにより知識を習得した上で、家畜の飼育面積や環境などの基準を満たす実践農場をそれぞれの達成割合に応じた3つのランクで認証します。認証ランクに応じたロゴマークを付与することで、消費者は新たな価値の付いたブランド畜産物を選びやすくなっています。



快適性に配慮した飼養管理/「アニマルウェルフェア」のロゴマーク

水

■問い合わせ先 自然共生推進課 TEL 055-223-1634

山梨県は、富士山をはじめ、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などの山々に囲まれ、山に降る雨や雪が森林を潤しながら伏流水となり「天然の水がめ」と呼ばれるほど豊富な水をたたえる名水の地です。

こうした豊かな自然や良質な水は、生産量日本一を誇るミネラルウォーターをはじめ、ブドウやモモなどの美味しい果物や日本酒、富士の介などの養殖魚、長い歴史を持つ織物や手すき和紙などのさまざまな特産物を育むとともに、多様な泉質を持つ温泉や「名水百選」などに選ばれる湧水、渓谷等の観光地としての魅力を創出するなど、多くの恵みをもたらしています。



西沢渓谷七ツ釜五段の滝 (山梨市)

手すき和紙には豊かで良質な水が必要

西山温泉 (早川町)

林業

■問い合わせ先 森林政策課 TEL 055-223-1642

山梨県は、県土の約78%を森林が占める全国有数の森林県です。森林面積全体の約44%を占める人工林の多くが大きく成長し、木材として利用可能な時期を迎える中、ICT等の先端技術を活用し森林施業の生産性・安全性を向上させるスマート林業の推進や、公共建築物等への積極的な県産材の利用などを通じて「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用に取り組んでいます。

また、森林環境税などを活用して荒廃した民有林の間伐を行うなど、山地災害の防止や水源の涵養、地球温暖化の防止といった森林の有する公益的機能が将来にわたって発揮されるようにするための取り組みを進めるほか、キノコ類、タケノコ、ワサビなど特産林産物の産地化や、地域のブランド化に資する県有林の高度活用を推進しています。



手入れが行き届いた人工林

山梨オリジナルの特産林産物 山梨夏っ子きのこ

ブランドを推進するポスター

天に選ばれし、名水の地。山梨。

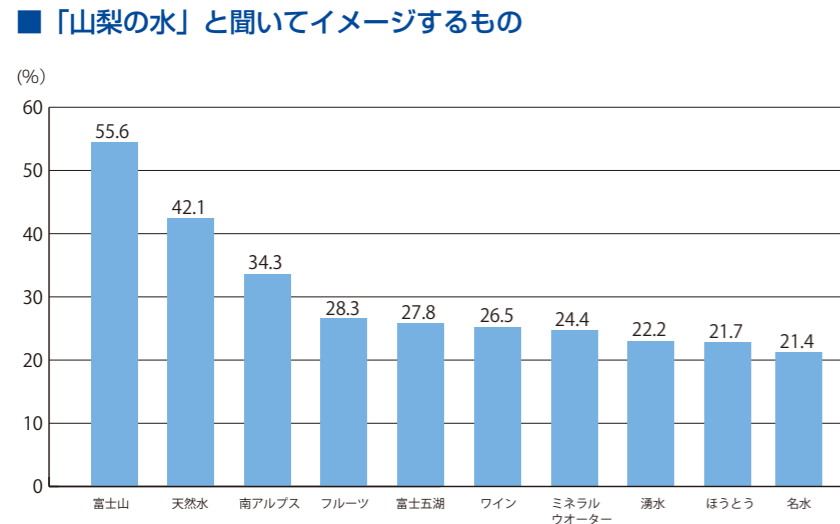
県では、健全な水循環を守り育てる「育水」という考え方のもと、民間企業や団体などと連携しながら、豊かで良質な水を将来にわたって保全するとともに「名水の地 やまなし」で育まれる豊富な地域資源（観光資源、県産品、自然環境、歴史文化など）と融合し、その魅力を国内外に情報発信するなど、山梨の「水」のブランド力、さらには本県のブランド力向上を目指しています。

FSC® 森林管理認証

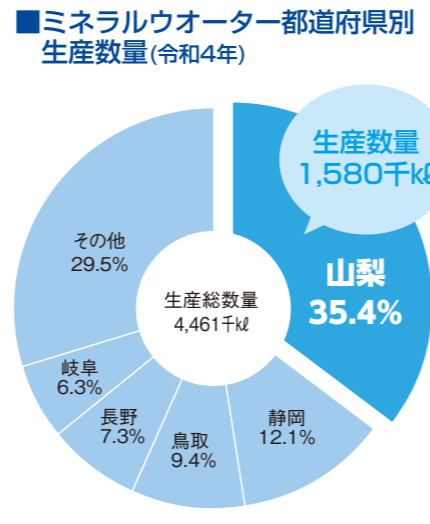
県有林は、公有林としては全国に先駆け FSC 森林管理認証を取得しています。この認証は、県有林が環境、社会、経済の各分野において国際的な基準に従い適切に管理されていることを証明するものです。

認証面積は14万4千ヘクタールで国内認証の約3分の1を占め、全国1位。その豊かな森林資源から生産された木材は FSC 認証材として、東京2020オリンピック・パラリンピック関連施設や公共建築物、その他さまざまな商品に活用されています。

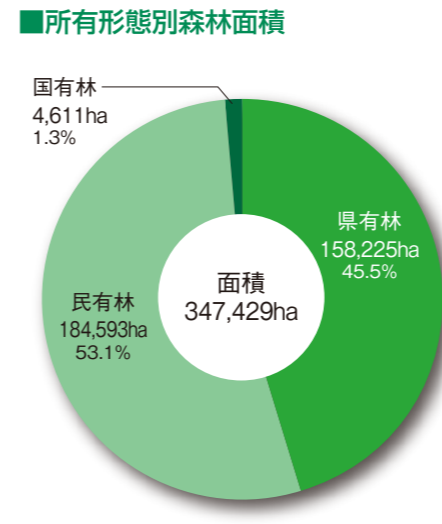
国立競技場スタンド：観客席を覆う大屋根に県産 FSC 認証材(カラマツ)を使用
(提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター)



資料：令和3年度やまなしの「水」に関する意識調査結果（上位10位）※複数回答あり



資料：日本ミネラルウォーター協会統計資料



資料：令和5年度 山梨県林業統計書
(端数処理により内訳の合計は100%にならない)

森林面積と森林比率

山梨	
総面積	446,527ha
森林面積	347,429ha
森林比率	77.8%

人工林面積と人工林比率

山梨	
森林面積	347,429ha
人工林面積	152,953ha
人工林比率	44.0%

観光

■問い合わせ先 観光文化・スポーツ総務課 TEL 055-223-3776

山梨県は、豊かな自然環境、先人たちが積み重ねてきた歴史や文化、四季の特徴が際立つ気候、風土の恵みである食といった、観光地として必要な要素を高いレベルで兼ね備えています。本県が魅力的な地として観光客から選ばれ満足してもらえるよう、これらの地域資源を活用するとともに、これまで観光に活用されてこなかった新たな地域資源を掘り起こし、磨きをかけ、光を当てる取り組みを進めています。また、観光客が訪れることで、地域社会が活性化し、観光事業者にとっても働く魅力が向上するよう、観光産業の高付加価値化を推進しています。



ワイン、食、温泉、グランピングなど、山梨ならではの観光コンテンツが充実

美酒・美食王国やまなし ぜひ、やまなしの美酒・美食を体験してみてください

本県は140年以上続くワイン造りの歴史と伝統があり、今もお日本ワイン生産量、ワイナリー数ともに日本一を誇る「ワイン県」です。ワイン県宣言をきっかけに、ワインを通じた周遊観光や地場産業の活性化に取り組んできました。

中でもワインとの相性が良い「食」について、県内で活躍するシェフやソムリエで構成された「やまなし美食コンソーシアム」と連携し、ワインなどの県産酒と、高品質な県産食材を活用した料理とのペアリングの魅力を、県内外へ発信しています。

本県の旬の食材を使用した美味しい料理と、ワインをはじめとした日本酒、クラフトビール、ウイスキーなどの県産酒のペアリングを、美しいロケーションの中で、五感で味わっていただく「やまなしの美酒・美食」を体験できるレストランなどを県内各地にさらに広げ、「食」を目的に多くの観光客が訪れる「美酒・美食王国やまなし」の実現を目指していきます。

また、若手シェフの新たな挑戦へも支援し、活躍の場を広げていきます。



県産食材を使った創作メニュー

自然を活かしたアウトドアスポーツアクティビティ

首都圏からアクセスしやすく、豊富な自然環境に恵まれた強みを最大限に生かし、本県ならではのスポーツを体験できる環境づくりを進めています。

令和5年には、南アルプスユネスコエコパーク内の林道を走行する「CYCLE ADVENTURE Tour. in Minami-Alps」を開催。このイベントでしか走ることのできない貴重なサイクリングコースを提供し、ランチタイムにテントサウナやヒーリング・ヨガ、スラックラインなどの大自然を満喫できるさまざまなアクティビティを用意しました。

これからも多くの方が本県を訪れスポーツを楽しめるよう、イベントの開催やアウトドアアクティビティの促進などに取り組んでいきます。



CYCLE ADVENTURE
Tour. in Minami-Alps



イベント動画はこちら▶



アウトドアサウナの聖地

本県は、豊かな自然と清らかな水に恵まれており、自然の中でサウナを楽しむ「アウトドアサウナ」の最適地です。県はアウトドアサウナの聖地を目指し、民間企業などと共に、マナーや安全な入り方のルールの周知、認知度向上を図るための特設サイトの開設などを進めてきました。

国への要望活動や特設サイトを通じた情報発信により、アウトドアサウナを活用した地域活性化に取り組んでいきます。

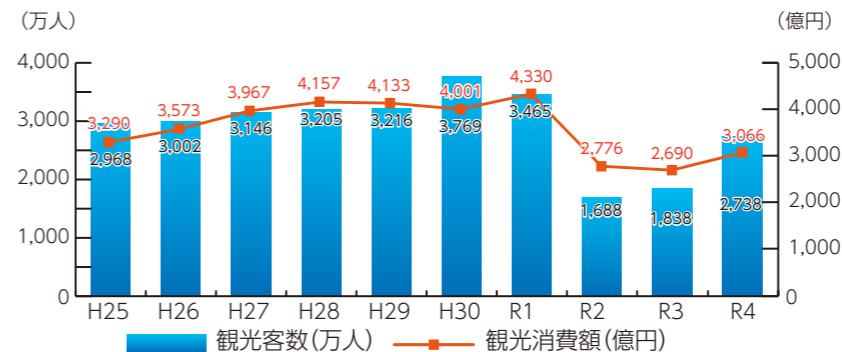


森の中のバレルサウナ(MATKA)

アウトドアサウナを体験できる施設

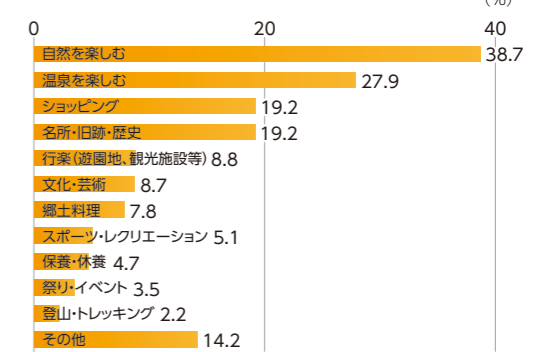


観光客数・観光消費額の推移



資料：令和4年山梨県観光入込客統計調査

観光目的



資料：令和4年山梨県観光入込客統計調査

先端産業

■問い合わせ先
 メディカル・デバイス・コリドー、水素・燃料電池について
 成長産業推進課 TEL 055-223-1565

P2Gシステムについて
 新エネルギーシステム推進室 TEL 055-234-5268

テストベッドの聖地について
 リニア未来創造・推進グループ TEL 055-223-1363

本県の主力産業である機械電子産業の企業は、産業用ロボットや半導体の製造を支える高度な技術を持っています。これらの企業が培ってきた技術を生かし、今後成長が期待される医療機器関連産業や水素・燃料電池関連産業への進出を支援しています。さらに、今年度から新たに、今後市場拡大が見込まれる航空宇宙防衛関連産業についても進出を支援していきます。

また、県内のさまざまな場所で新たな挑戦が繰り返され、国内外の起業家から選ばれる地となるよう、スタートアップ（新興企業）が行う実証実験を全面的にサポートしています。

ここ山梨は、既存の企業も新たな企業も成長や挑戦ができる場として注目を集めています。

メディカル・デバイス・コリドー

高い技術力を持つ本県の機械電子産業の企業に、医療機器関連分野への進出を促し、県内一帯に集積させる「メディカル・デバイス・コリドー構想」の実現を目指しています。

この構想の実現に向け、メディカル・デバイス・コリドー推進センターを設置し、法規制への対応、資金調達、販路拡大など、企業に寄り添った息の長い支援を行っています。また、医学部を擁する山梨大学と連携した社会人技術者向けの人材育成プログラムを開設し、本県の医療機器関連産業をけん引する技術者を育成しています。

令和5年11月には、受託製造の拠点形成等を通じた構想実現の加速化に向け、メディカル・デバイス・コリドー推進計画を2.1にバージョンアップしました。

本計画では、専らメーカーの委託を受け半導体を製造する台湾のTSMCに代表される、いわゆるファウンドリーの医療機器版を山梨県全体で目指す「全県ファウンドリー化」や医療機器関連産業の市場動向やイノベーションの潮流、本県のポテンシャルなどを踏まえ「医療・健康データの産業化」を目指していきます。

こうした取り組みにより、本県企業の収益拡大のみならず、先進的な医療機器の製造を担うことで、医療の質の向上にも貢献していきます。



山梨大学と連携して実施する社会人技術者向けの人材養成講座



半導体事業で培った技術を活用して医療機器関連分野へ進出した企業

メディカル・デバイス・コリドー構想

世界的な高齢化の進展や新興国の需要拡大を受け、医療機器関連市場は今後も拡大。市場の成長力を本県経済にビルトイン。

R2~4年度 基礎構築期

山梨方式は「部材供給」
 (医療機器メーカーに部材・材料を納品)

「メリット」
 製品の製造物責任を負うリスクなし
 本県企業の技術を幅広く活用でき、参入が容易
 → 販路に成果を創出

366億円 2.7倍 977億円

71社 2倍 157社

127億円 2倍 254億円

R5年度~成長・拡大フェーズ

「メディカル・デバイス・コリドー推進計画2.1」へバージョンアップ

「新たな構想の目指す姿」

- 全県ファウンドリー化(製造受注の拠点形成)
- 医療・健康データの産業化

→ 次の新機軸により構想実現を加速化

軸1 高度化
 ● デジタル医療機器等の実証フィールド形成、医療データの活用

軸2 対象分野の拡大(機能性表示食品・医薬部外品等)
 ● 健康寿命トップクラスの強みを生かした関連製品の展開

軸3 海外展開
 ● 海外医療機器メーカーとのマッチング促進
 ● 米国展開に向けた伴走支援

水素・燃料電池関連産業

太陽光発電などの再生可能エネルギー（再エネ）で水素を製造するパワー・ツー・ガス（P2G）システムの開発に、民間企業と共同して取り組んでいます。この「やまなしモデル P2G システム」は、世界最高効率の電解質膜を用いた装置を採用し、小型でシンプルな構成でありながら、連結することによって大容量化にも対応できます。

再エネ由来の電力で水を電気分解して造られる「グリーン水素」は製造過程でも二酸化炭素を一切出さないため、究極のクリーンエネルギーといわれています。世界が脱炭素化に取り組む中、この流れを追い風に、県は「やまなしモデル P2G システム」を国内外に広く展開していきます。

水素・燃料電池関連産業は今後も安定した成長が期待できることから、県内の中小企業の参入を支援し、本県の基幹産業とすることを目指しています。県内には、世界最高水準の研究機関である山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センターをはじめとする研究開発拠点が集積しています。令和5年には、甲府市の米倉山に世界最先端の技術者が交流する研究開発拠点「米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ（Nesrad）」を整備しました。

こうした強みを生かし、県内企業の製品開発や部材供給による参入支援、専門人材の育成など、県内の中小企業の参入を後押しするためのさまざまな取り組みを行っています。



米倉山電力貯蔵技術研究サイト



水素・燃料電池産業の活性化を図るための県内企業などとの情報交換会

テストベッドの聖地

人材の交流を生み出し、イノベーションが創発される「テストベッドの聖地」となることを目指し、地域特性を生かした実証実験が盛んに行われる環境づくりを進めています。

本県は、豊かな自然環境に恵まれたゆとりある空間、中山間地域をはじめとする多彩な実証フィールドなど、テストベッドに適した高いポテンシャルを持っています。また、大都市圏とのアクセスも容易です。こうした優位性を生かし、多くの実証実験などを呼び込むため、県は「TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業」を実施しています。この事業は、資金の支援のみならず、関係機関との連携や技術面のサポートなどに県が積極的に関与する伴走支援が特徴です。これまで支援した中には、実験の成果が実を結び全国展開を進めている企業もあります。



エネルギーや水など既存のライフラインに依存しない完全オフグリッド環境の実験フィールド（北社市）



中山間地域の不便さを解消するドローン配送の実証実験（小菅村）

地場産業

■問い合わせ先 産業振興課 TEL 055-223-8871

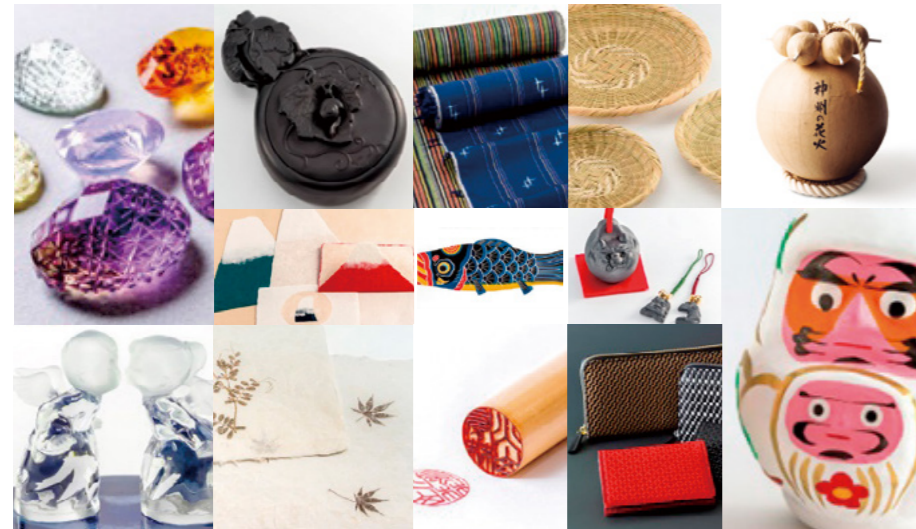
山梨県には、長い時間をかけて磨き上げた伝統的な地場産業が数多くあります。中でも、海外でも評価を受けているワイン、豊富で上質な水で仕込む日本酒、高度な技術で美術品の域に高められている水晶貴石細工、千年以上の歴史を誇る産地で作られる織物（テキスタイル）、そして風土と暮らしの中で受け継がれてきた印章や印伝といった工芸品などが有名です。雄大な自然と歴史の中で思いを込め、時間をかけて丁寧に仕上げるつくり手が、本県の地場産業を支えています。

美酒美県やまなし

お酒の地理的表示（GI）は、地域の気候や風土、伝統的な製法などを生かして、品質にこだわって生産に取り組んでいる産地を国が指定する制度です。平成25年に全国で初めてワインでGI「山梨」が指定され、令和3年には日本酒でもGI「山梨」が指定されました。同じ県から2つの酒類でGIが誕生するのも全国初です。これを受け県は、おいしいお酒は美しい自然が育てる「美酒美県やまなし」と銘打ち、本県が誇る美しい自然と匠の技から生み出される高品質な日本酒・ワインを国内外に向けてPRしています。

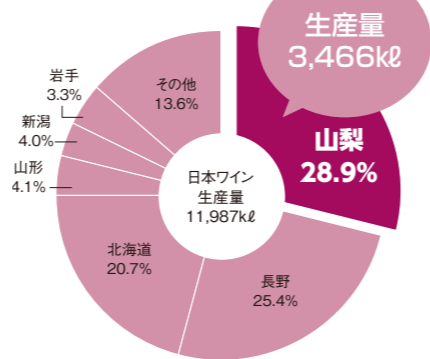


「美酒美県やまなし」として日本酒とワインをPR



日本ワイン*生産量(令和4年度)

*日本国内で製造されたブドウを100%使用して国内で醸造されたワイン



資料：酒類製造業及び酒類卸売業の概況

やまなしの美技

伝統産業・地場産業の魅力を伝えるべく、さまざまなプロモーションを展開しています。本県は国内屈指のジュエリーの産地であり、国際的なジュエリーフェアの開催などブランド化や国内外の販路拡大に向けて取り組んでいます。富士・東部地域の代表的産品である郡内織物は、海外の展示会出展を通じ、新しい市場の獲得を図っています。また、印章や和紙などの「山梨県郷土伝統工芸品」の振興や次世代への伝承のため、展示会などを通じ、県内外へのPRや普及に努めています。



交通ネットワーク

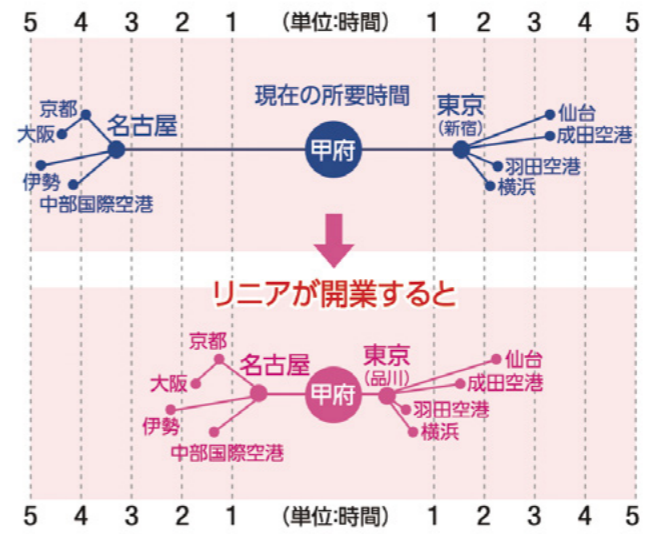
■問い合わせ先
リニア中央新幹線について
リニア未来創造・推進グループ TEL 055-223-1664
リニア整備推進室 TEL 055-223-1364
道路交通網について
道路整備課 TEL 055-223-1686
高速道路推進課 TEL 055-223-1690
交通強靱化について
県土整備総務課 TEL 055-223-1668

リニア中央新幹線

近い将来開業が予定されているリニアは、東京圏や名古屋圏、大阪圏の三大都市圏を結ぶ新たな交通の大動脈となります。本県においても、東京都心から約25分、名古屋から約45分で結ばれることとなり、国際空港からのアクセスも格段に向上します。リニアによって山梨は全国のみならず世界との結び付きも強化されることになります。そして、リニア駅は中央自動車道や新山梨環状道路などを通じて道路ネットワークと結ばれます。県では、最新技術の動向も注視しながら、県内主要拠点とのさらなるアクセス向上を図っていきます。



リニア駅周辺整備の概要



リニア開業による時間短縮効果

道路交通網

本県の骨格となる道路交通ネットワークの整備が進められています。甲府都市圏における交通の円滑化と、周辺地域の連携強化などを目的とする新山梨環状道路や、盆地と富士北麓地域を結ぶ国道137号の新たな御坂トンネル、リニア駅に隣接する中央自動車道の(仮称)甲府中央スマートICが整備されることで、県内各地の移動がスムーズになります。これは、生活環境の改善にとどまらず、観光客の周遊促進や物流の効率化など幅広い効果が期待でき、リニア開業効果の県内全域への波及にもつながります。令和3年8月には、中部横断自動車道 山梨～静岡間が全線開通。静岡県と高速道路で直結したことで、清水港や富士山静岡空港までの所要時間が大幅に短縮され、国内外とのアクセスが飛躍的に向上しました。今後、長坂～八千穂間が整備されると、長野県との新たなルートが開け、さらに大きな効果が期待できます。県では、長野県とつながる中部横断自動車道長坂以北の早期整備を国に対して強く働きかけていきます。



県内外で整備が進む交通ネットワーク

交通強靱化

本県では、自然災害によって県外との交通が寸断され、県民生活に深刻な影響が及ぶことがありました。しかし、中央自動車道や東富士五湖道路に加え、近年、中部横断自動車道の山梨～静岡間や、東富士五湖道路につながる須走道路・御殿場バイパスが開通し、高速交通網が確保されました。1つの路線が遮断されても他の路線を迂回することで、交通が途絶えるリスクを減らすことができ、本県に関わる交通が強靱化されました。

World Heritage 世界遺産

世界遺産富士山 「信仰の対象と芸術の源泉」

日本一の高さを誇る富士山。2013年6月22日に「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」の名称のもと、世界文化遺産に登録され、昨年、10周年を迎えました。

富士山は「信仰の対象」であるとともに「芸術の源泉」として、日本人の自然観や日本文化に大きな影響を与えてきた歴史があります。

かつて富士山は、激しい噴火を繰り返す火の神として人々から畏れられていました。しかし、平安時代になり噴火が沈静化してくると、富士山の中に入り修行する人が現れます。このような人々の信仰は一般民衆にも普及し、江戸時代になると富士講と呼ばれる信仰集団が爆発的に広まり、多くの人が富士山に登るようになります。また、葛飾北斎などの浮世絵のモチーフとして富士山が多用され、日本人の生活に溶け込んでいきます。人と自然が信仰と芸術を通して共生する姿は、富士山が持つ大きな特徴といえるでしょう。

このような富士山の歴史や文化にゆかりのある25の構成資産には、その山体だけでなく、周囲にある神社や風穴、溶岩樹型、湖沼などもあります。ユネスコ世界遺産委員会はこれらの価値を認め、未来に受け継ぐべき世界の宝として世界文化遺産への登録を決定したのです。



中ノ倉峠から望む富士山と本栖湖

構成資産分布図



富士山世界遺産センター



富士山の「信仰」と「芸術」、自然など25の構成資産からなる「世界遺産富士山」の魅力を分かりやすく紹介する施設です。南館では、富士信仰の旅をVR映像で体験することもできます。北館では、富士山や周辺地域などの観光案内を行っています。

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-0259
FAX 0555-72-0211
バリアフリー対応駐車場・トイレ・エレベーターあり



信仰の対象



⑧北口本宮富士浅間神社

富士山信仰の聖地。富士講が富士登拝に出発すると、まずこの神社を参拝し、境内にある登山鳥居をめぐり富士山頂を目指しました。



⑨御師住宅(旧外川家住宅)
※⑩小佐野家住宅は非公開

1768年に建てられた御師の家。御師は、富士登拝に訪れる富士講を迎え入れ、食事や宿泊の世話をするとともに布教活動も行い、富士山信仰を支えていました。



⑪船津胎内樹型
※⑫吉田胎内樹型の内部は一般公開されていません

937年の富士山噴火の際に流出した溶岩でできた世界的にも珍しい樹型の一つ。樹型の内部には富士山の祭神「木花開耶姫命」が祭られています。

芸術の源泉



富嶽三十六景 凱風快晴 (葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

通称「赤富士」。凱風とは南風のこと。夏の朝、赤みを帯びた富士の山肌が日を受け、さらに赤く輝く現象が起こります。その一瞬を簡潔な構図と色彩で伸びやかに描いています。



富嶽三十六景 諸人登山 (葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

つえを使って登る者、疲れて腰を下ろす者、岩室で休む者など富士山頂付近の富士講が描かれています。信仰の山としての富士山を主題にしていることが感じ取れます。



富嶽三十六景 甲州三坂水面 (葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

甲府盆地と河口湖を結ぶ御坂峠からの景色を描いています。実際の富士山が夏の様子であるのに対し、河口湖面に映る逆さ富士には雪が積もっているところがユニークです。

日本遺産

Japan Heritage

日本遺産に認定されている 4つのストーリー

日本遺産とは、国内の各地域に点在する史跡や伝統芸能など、有形や無形の文化財をパッケージ化し、歴史的な魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するものです。山梨県では4つのストーリーが日本遺産に認定されています。

葡萄畑が織りなす 風景

-山梨県峡東地域-

山梨市/笛吹市/甲州市

甲府盆地の東部は平坦地から傾斜地まで葡萄畑が広がり、初夏には深碧の絨緞（じゅうたん）、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとにさまざまな風景を魅せてくれます。

奈良時代から始まったとも伝えられる葡萄栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面の葡萄畑に変え、またその葡萄畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、葡萄畑の風景の中に溶け込んでいます。



甲州市勝沼地域のフルーツライン付近から望むブドウ畑



巨岩や奇石などを有し、希少な造形美を形成する昇仙峡

甲州の匠の源流・ 御嶽昇仙峡

-水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ-

甲府市/甲斐市

昇仙峡一帯の山地は、水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地であり、地域を流れる荒川上流を訪ねると大小の滝や巨岩、奇石を見ることができます。水がつくった芸術品ともいえる渓谷美は、地域の人々により日本有数の景勝地として磨き上げられました。

また、産出された水晶と匠の技として伝承される加工技術は、日本一のジュエリー産業の基盤になりました。さらにその加工技術は人工水晶製造技術へとつながり、電子機器などに使用されるなど、現代に至る私たちの生活を支えています。

星降る中部高地の 縄文世界

-数千年を遡る黒曜石鉾山と縄文人に会う旅-

山梨県 甲府市/韮崎市/南アルプス市/
北杜市/笛吹市/甲州市

長野県 茅野市/富士見町/原村/諏訪市/
岡谷市/下諏訪町/長和町/川上村

日本の真ん中、八ヶ岳を中心とした中部高地には、ほかでは見られない縄文時代の黒曜石鉾山があります。鉾山の森に足を踏み入ると、そこには縄文人が掘り出したキラキラ耀（かがや）く黒曜石のカケラが一面に散らばり、星降る里として言い伝えられてきました。日本最古のブランド「黒曜石」は、最高級の矢じりの材料として日本の各地にもたらされました。

麓のムラで作られた、ヒトや森に生きる動物を描いた土器やヴィーナス土偶を見ると、縄文人の高い芸術性に驚かされ、黒曜石や山の幸に恵まれて繁栄した縄文人を身近に感じることができます。



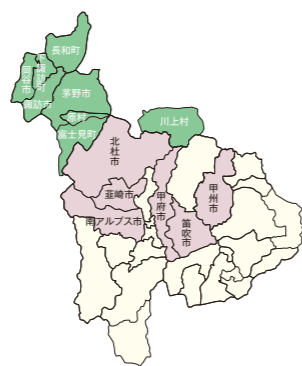
甲府市
上野原遺跡 水煙文土器



韮崎市
石之坪遺跡 動物文土器



南アルプス市
鑄物師屋遺跡 人体文土器



北杜市
津金御所前遺跡 出産文土器



甲州市
殿林遺跡 深鉢型土器



旧宮崎葡萄酒醸造場施設（宮光園）



大黒天印甲斐産葡萄酒と甲斐産エビ葡萄酒



宮光園での醸造作業風景



甲州市内の和風建築のワイナリー

日本ワイン 140年史

-国産ブドウで醸造する和 문화の結晶-

山梨県 甲州市 茨城県 牛久市

国産ブドウを原料とし、国内で醸造される日本ワイン。その140年にわたる歴史において、甲州市の勝沼地域では、地元のブドウ農家と共存繁栄を図ることで、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーが誕生しました。また、茨城県牛久市の牛久シャトーは、大規模な醸造体制を確立しました。

明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして、民間の力で成し遂げたのです。

日本のワイン文化の広がりにも貢献した2つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなることでしょう。

世界農業遺産 Globally Important Agricultural Heritage Systems

峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム



峡東地域には、果樹栽培による四季折々の美しい農村景観が広がる

世界農業遺産とは、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業とそれに密接に関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった、将来に受け継がれるべき重要な農業システムを認定する制度です。古くから果樹の産地として知られ、独自の栽培技術や果樹加工技術など、世界に誇る特色を持つ「峡東地域の扇状地に適応した果樹システム」が、令和4年、世界農業遺産に認定されました。

果樹農業システムの特徴

地形・気象に応じた多種多様な果実栽培

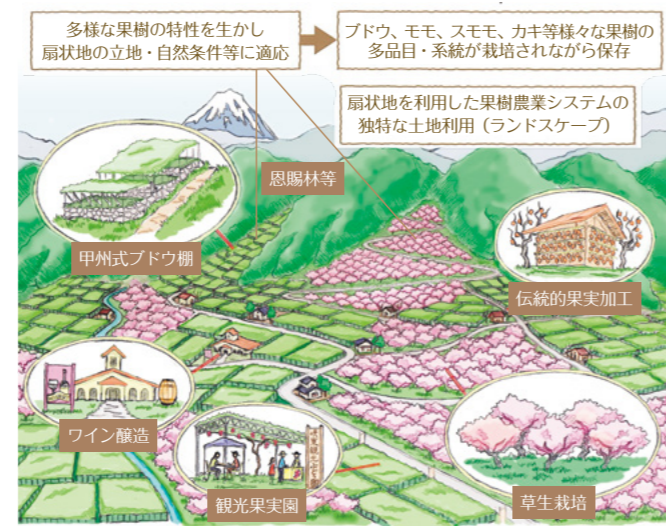
峡東地域では、扇状地特有の傾斜や起伏、土壌などの異なる自然条件や多雨・湿潤な気象条件に適応するため、効率的で独特な土地利用が行われてきました。適地・適作により、10品目以上、品種・系統数は300以上の多種多様な果樹を栽培する地域であり、付加価値が高い世界トップレベルの果実生産により、収益性の高い農業経営を実現しています。



栽培される多種多様な果実

長い歴史で培われた知恵と独自のシステム

峡東地域は、日本のブドウ栽培発祥の地とされ、ブドウ「甲州」は平安時代にはすでに栽培されていたといわれています。約400年前に峡東地域で考案された「甲州式ブドウ棚」は、降水量の多い日本の気象に適応するために開発された技術で、現在、日本のブドウ栽培のスタンダードとなっています。他にも、生物多様性を育む草生栽培、枯露柿やワイン醸造といった果実加工、観光果実園などとともに発展し、世界に誇る特色ある地域を形成しています。



峡東地域の果樹システムの概要図

ユネスコエコパーク Biosphere Reserves

甲武信 ユネスコエコパーク 南アルプス ユネスコエコパーク



奥秩父主稜の中心に位置する甲武信ヶ岳



赤石山脈の高い山々と深い谷

四大河の源流域

甲武信ユネスコエコパークは、甲武信ヶ岳、金峰山、雲取山などの山々が連なり、荒川、多摩川、笛吹川、千曲川の四大河の源流部に当たる奥秩父主稜とその周辺地域で構成されています。

豊かな地層と岩石に育まれた環境に多様な動植物が生息し、特にチョウ類は126種確認され、生物の希少な宝庫となっています。また自然と共に歩んできた長い歴史を背景に多様な文化が育まれ、民俗芸能や山岳・神社信仰が今もなお息づいています。

さらに、地理的特徴や気候を生かし、ブドウ、モモなどの果樹栽培や高原野菜のレタス栽培など特徴的な農業が行われています。

首都圏近郊にありながら豊かな自然を有するこの地域は、約1,800万人の暮らしや産業を支える水源地となっており、自然環境保全の取り組みも積極的に行われています。



ヒメギフチョウ

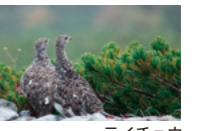


植樹活動

高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性

南アルプスユネスコエコパークは、3,000m級の山々が連なる赤石山脈の急峻な山岳地帯とその周辺地域で構成されています。国内屈指の多雨多湿地帯であることから、森林の独特な垂直分布が見られます。また、キタダケソウなどの固有種をはじめ、氷期の遺存種であるライチョウなど南限種が多く生息する、生物多様性に富んだ自然環境となっています。山稜部には準平原や氷河地形が数多く残され、活発な地殻変動によって現在も年間約4mm隆起し続けています。

古来より急峻な山岳地形が交流の障壁となり、富士川水系、大井川水系、天竜川水系の流域ごとに習慣、食文化、民俗芸能などの個性的な文化圏が形成され、現代まで継承されてきました。麓の地域では、これら自然や文化を体験できるプログラム開発などの取り組みが盛んに行われています。



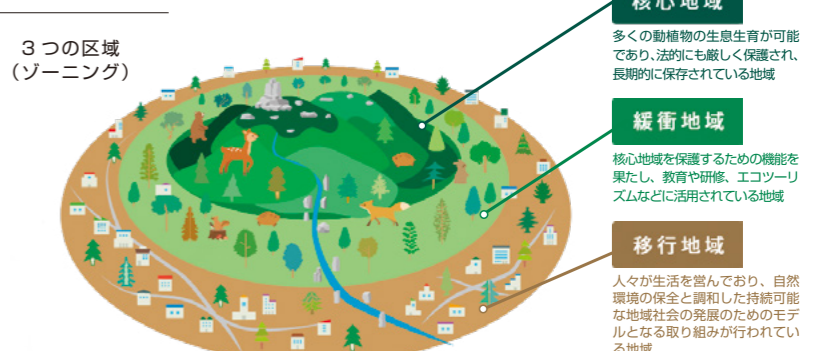
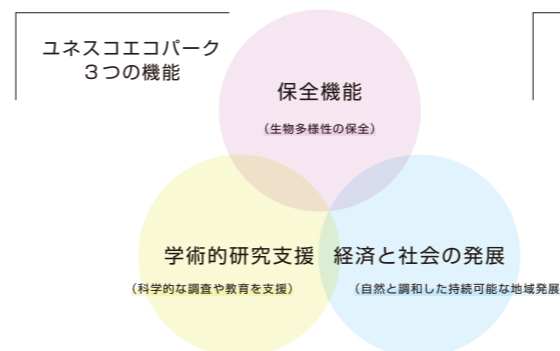
ライチョウ



キタダケソウ

ユネスコエコパークとは？

ユネスコエコパークとは、正式名を生物圏保存地域といい、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的として、ユネスコが国際的に認定した地域です。日本では「甲武信」「南アルプス」をはじめ10地域が登録されています。





画像提供:甲府市

てんずしまい 天津司舞

昭和51年5月4日指定
(甲府市小瀬町・下鍛冶屋町)

日本第一号の重要無形民俗文化財に指定されている、日本最古の人形芝居である。その年の豊作を願って舞う田楽芸能の一つ。9体の人形は小瀬町の天津司神社を出発し、下鍛冶屋町の鈴宮諏訪神社の境内に張られた幕の中に入り、舞を奉納する。人形は等身大で、舞は水上での神々の姿を再現したものといわれる。現在は4月の第一日曜日に行われている。



画像提供:富士吉田市

よしだ ひまつり 吉田の火祭

平成24年3月8日指定(富士吉田市上吉田)

吉田の火祭は北口本宮富士浅間神社とその摂社の諏訪神社の祭りで、江戸時代から富士山信仰の隆盛とともに賑わった祭りであると「甲斐国志」にも記載されている。7月1日の富士山のお山開きに対して、お山仕舞いのお祭りとして8月26日に行われる。巨大な富士山型の神輿が勇壮に渡御し、市内に並べられた大松明が燃やされる。

かわぐち ちご まい 河口の稚児の舞

平成29年3月3日指定
(富士河口湖河口)

河口浅間神社の毎年7月28日の太々神楽祭に奉納されている。神楽に奉仕するのは、氏子の中の7歳から12歳までの「オチゴサン」と呼ばれる女の子。オチゴサンは両親が健全なことが絶対条件で、舞を奉納する1週間前からは4足のを食べてはいけないなどの厳粛さがある。



画像提供:富士河口湖町



画像提供:上野原市

むしょうの だいにんぶつ 無生野の大念仏

平成7年12月26日指定(上野原市秋山無生野)

大念仏は人々が一堂に集まって念仏を唱える行事。江戸時代までは各地に伝えられていたが、現在でも完全な形を残しているのは、県下では無生野だけとなっている。この地域では鎌倉時代末期、後醍醐天皇の王子である大塔宮護良親王らの悲運の伝説にちなんで悪霊退散を祈願したものが起源と語られている。令和4年、「風流踊」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録された。

山梨の文化財

長年にわたる人々の生活の中で創り出し、守り伝えられてきた宝物
Important intangible cultural assets and national treasure of Yamanashi



けんぼんちゃくしよくだるます 絹本著色達磨図

昭和28年11月14日指定
(甲州市塩山 向嶽寺所有)

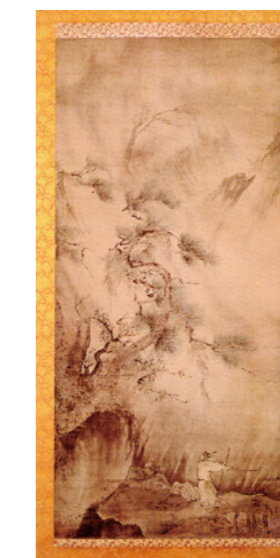
達磨が朱衣に身を包んで岩上に座禅する本図は、その生き生きとした描写や重厚な筆致から、優品としての評価が高い。着賛している蘭溪道隆は、鎌倉建長寺を開山した中国からの渡来僧で、東光寺や永岳寺を開山するなど、本県にも関係がある。13世紀頃の作である。



だいぜんじほんどう 大善寺本堂

昭和30年6月22日指定
(甲州市勝沼町 大善寺)

鎌倉時代の密教系本堂の代表的建物で、東日本で最も優れた和様建築ともいわれている。内部の隅柱にある1286(弘安9)年の刻銘から、1270(文永7)年の火災で焼失した後、鎌倉幕府の援助を受けて再建された、山梨県では最古の建物であることが判明している。



けんぼんちゃくしよく 絹本著色 かけいさんすいず 夏景山水図

昭和30年6月22日指定
(身延町 久遠寺所有)

本来、四季山水図の一つとして描かれたものと考えられるが、春景図は失われている。京都金地院に残る秋景・冬景図二幅とともに北宋の徽宗皇帝の作とも伝えられる。12世紀初めとも、13世紀初めの作ともいわれるが、足利義満の所蔵印が押されていることから、14世紀には既に日本に伝来していたことが分かる。北宋・南宋時代の山水図を代表する名品である。



せいはくじぶつでん 清白寺仏殿

昭和30年6月22日指定
(山梨市三ヶ所 清白寺)

臨済宗の古刹・清白寺にあり、中世禅宗様仏殿の典型例として知られる。清白寺創建時の1333(正慶2)年の建築と伝えられてきたが、1917(大正6)年の解体修理の際に発見された墨書によって、1415(応永22)年であることが確認された。



こざくらかわおどしよろい 小桜韋威鎧 かぶと おおそでつき 兜、大袖付

昭和27年11月22日指定
(甲州市塩山 菅田天神社所有)

平安時代の風格を今も伝えるこの鎧は「楯無鎧」の名で知られ、御旗(甲州市塩山 雲峰寺蔵、県指定文化財)とともに武田家の重宝だったとされる。信玄の時代、鬼門鎮護のため菅田天神社に納められたが、武田氏が滅んだ際、敵の手に渡らないよう向嶽寺の大杉の根元に埋めたものを、徳川家康が掘り出し再び同社に納めたと伝えられる。

スモモ

栽培面積、生産量ともに日本一です。スモモの常識を覆すほど大玉で高糖度の「貴陽」、県オリジナル品種「サマーエンジェル」「皇寿」が注目されています。



サマーエンジェル

貴陽

日本 No.1

ブドウ

栽培面積、生産量ともに日本一です。栽培の歴史は古く、山梨県では約1300年前から始まったといわれています。大粒で着色に優れる県オリジナル品種「甲斐キング」や「巨峰」「シャインマスカット」「ピオーネ」など、品種は豊富です。また、日本固有のブドウ品種「甲州」は醸造用品種としても有名です。



甲斐キング

シャインマスカット

日本 No.1

日本酒

令和3年に指定を受けたGI「山梨」の日本酒は、仕込み水の水系が限定されているのが特徴。柔らかで透明感のある味わいは、塩気を感じさせる料理との相性が抜群です。



提供:山梨県酒造協同組合

ブランド食肉

山紫水明の自然豊かな山梨県で、磨き抜かれた飼育技術により丹念に育てられた「甲州牛」や「甲州ワインビーフ」「甲州富士桜ポーク」「甲州地どり」などの甲州統一ブランド食肉に加え、捕獲したニホンジカを活用し、食肉の安全・安心を担保した「やまなしジビエ」などがあります。



やまなしジビエ(シカ肉)



甲州富士桜ポーク

甲州牛

モモ

栽培面積、生産量ともに日本一です。県オリジナル品種「夢みずき」や「白鳳」「なつっこ」などが代表的な品種で、7月の東京中央卸売市場では、本県産のモモが約80%を占めます。



夢みずき

日本 No.1

山梨の逸品

美しい風土の中で伝統に育まれた品々。素朴さと気品の中にやまなしの個性が光ります。

Specialities of Yamanashi

ワイン

日本 No.1



日本ワインコンクール2023 金賞受賞ワイン

山梨県は日本のワイン醸造発祥の地であり、都道府県別ワイナリー数、日本ワインの生産量とも日本一です。約90ものワイナリーが数多くの銘柄のワインを醸造しており、中でも、日本固有のブドウ品種「甲州」で造られる白ワインは、和食に合う味わいが特徴で、和食ブームが続く海外でも注目されています。

富士の介

山梨県では、富士山をはじめとした山々からの良質な水資源を活用したニジマスなどの養殖業が盛んです。こうした中、県では、国内で初めてキングサーモンとニジマスを交配させた「富士の介」を開発しました。「富士の介」は、キングサーモンのおいしさとニジマスの育てやすさという特徴を併せ持った県ブランド魚です。



和紙

山梨県の和紙の歴史は古く、奈良時代末の773(宝亀4)年の記録には、全国の紙の産地として甲斐の名が記されています。市川三郷町の「市川大門手漉和紙」と身延町の「西嶋手漉和紙」は山梨県郷土伝統工芸品に認定されています。



花き

山梨県では、洋ランやシクラメン、花壇苗など、気象条件や技術を生かした高品質な花が生産されています。円すい形の花穂や花色変化が特徴の「ピラミッドアジサイ」や、スズランエリカをツリー状に仕立てた「クリスマスエリカ」などは本県オリジナル花きとして注目されています。



ピラミッドアジサイ

クリスマスエリカ

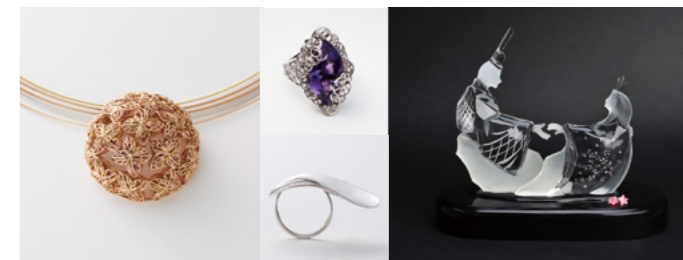
印章

全国有数の印章の産地である山梨県では、文久年間に水晶のてん刻が始まったといわれています。印材には、水晶、つげ、水牛などを使用し、機械彫り以外に手彫りによる印章も多く作られています。手彫りの印章は「甲州手彫印章」として国の伝統的工芸品に指定されています。



ジュエリー

山梨県は、宝石加工と貴金属加工が一体となった産地であり、研磨宝飾製品では、国内屈指の出荷額を誇っています。さまざまなジュエリーに加え、国の伝統的工芸品に指定されている「甲州水晶貴石細工」といった幅広い宝飾製品がそろっています。



織物(テキスタイル)

山梨県の織物は、独特の光沢や風合いで江戸時代より人々の心をとらえた「甲斐絹」をルーツとしています。現在、甲斐絹の技は婦人服、インテリア、裏地、傘地などに生かされ、ネクタイ生地では日本一のシェアを誇っています。また、新たなプロダクトとして夏服の製作に取り組んでいます。



日本 No.1

印伝

江戸時代末期までに甲府城下を中心に生産が始められたとみられ、袋物として当時から庶民の間で親しまれていました。鹿革に独特の伝統技法を用いて漆加工したもので「甲州印伝」として国の伝統的工芸品に指定されています。



硯

山梨県郷土伝統工芸品である甲州雨畑硯は、材料の良さ、光沢の良さが世界的に有名な中国の高級品「端溪」に匹敵するとされ「和端溪」と呼ばれています。墨ののりがよく、優雅な使い心地のため、書道愛好家にも人気が高いものとなっています。





みみ
(富士川町)
富士川町十谷の集落に伝えられている郷土料理。小麦粉を練って薄く延ばし、3cmの正方形に切り「箕」(農作業で使う道具)の形を作り、季節の野菜と一緒にみそで煮込む。昔、神様に奉納した「福箕」になぞらえて食べられるようになったともいわれている。



吉田のうどん

(富士吉田市)
富士吉田市では織物業が盛んで、女性が中心的な働き手であったことから、男性が食事の支度をしてきた。そのため簡単に作れ、非常に腰があり歯ごたえがあるうどんが、よく作られるようになった。具にキャベツをふんだんに使うことも特徴で、富士吉田市を中心に50軒以上のうどん店がある。



ほうとう

(県内全域)
「うまいもんだよ カボチャのほうとう」といわれ、誰もが知る山梨県の代表的な郷土食。武田信玄公が考案した陣中食であったといわれているが、文献上は江戸時代以降に多く登場する。峡南地域では「のし入れ」「のし込み」とも呼ばれている。



カツ丼

(県内全域)
山梨県で「カツ丼」を注文すると、ご飯の上にキャベツのり、その上にとんかつがのった丼が出てくる。この上にたっぷりとソース(ウスター)を掛けて食べる。とんかつの肉汁や、ソースが浸み込んだご飯も絶品とされている。県外で一般的な「卵でとじたカツ丼」は「煮カツ丼」と呼ばれ、別の料理である。

山梨の郷土食

各地域で受け継がれる山梨の食文化
Local cuisine of Yamanashi

富沢こわめし

(南部町)
南部町の名産品たけのこを用いたおこわで、旧富沢町で作られていたことから「富沢こわめし」と呼ばれている。地元で採れた旬の山菜も使用し、春の季節を感じることができる。毎年4月に、たけのこまつりが開催されている。



おぢら

(中北地域、峡南地域)
おぢら(おぢら)は古くから伝わる郷土料理の一つで、ほうとうに使用するより細めの冷やした麺を温かいしょうゆベースのつゆにつけて食べるのが一般的。のど越しがよく、夏場に食べる人が多い。



せいだのたまじ

(上野原市)
たまじと呼ばれる小さなジャガイモをみそで甘辛く煮詰めた郷土料理。江戸時代の名代官・中井清太夫は、飢饉の際にジャガイモ栽培を広めて窮地を乗り切った。人々が感謝を込めてジャガイモのことを「せいだ」と呼ぶようになったのが、名前の由来といわれている。



鳥もつ煮

(甲府市)
鶏の砂肝、ハツ、レバーなどを甘辛く濃厚なしょうゆダレで照り煮した甲府独自の料理で、市内のそば屋やほうとう屋の定番メニューとなっている。「B1グランプリ」でゴールドグランプリを受賞し、山梨の郷土食として全国区となった。

小豆ほうとう

(中北地域、峡南地域)
まず小豆を甘く煮立て、さらにほうとうを入れて煮た小豆ほうとうは、地区行事や祝いの折にも食べられてきた。北杜市須玉町若神子の三輪神社で毎年7月末に行われる祭りでは、小豆ほうとうが振る舞われることから「ほうとう祭り」とも呼ばれている。



にんじんめし

(市川三郷町)
市川三郷町の大塚地区は「のっぴい」と呼ばれる土壌で、肥沃な上に石がほとんどないため、1mもの長さに育ち、食物繊維を多く含み、栄養価が高い「大塚にんじん」を育てるのに適した地域。毎年12月に「のっぴい農産物直売所」で収穫祭が開催されている。



酒まんじゅう

(上野原市)
炊いた米と米麴を合わせて一次発酵させたものを生地を練り込んであんこを包んだ、上野原の粉文化が生み出した郷土食。かつて、上野原の甲州街道沿いは、甲斐絹(かいぎ)の里として市が立ち、江戸と甲州の多くの商人が行き来しましたが、この地に集まった商人達に愛され、広く伝えられたとされています。



馬刺し

(県内全域)
山梨県は主要街道である甲州街道が通り、また、富士山信仰で登山者の荷上げ用で必要とされ、馬が身近であったことから、馬肉料理が盛んになったともいわれている。馬肉生産量全国5位、吉田のうどんにも馬肉が用いられている。



月のうら

(甲府市、甲州市)
果樹王国山梨を代表する品種「甲州ぶどう」の粒を、一つずつ砂糖蜜で塗り固めたお菓子。昔菓子職人が、偶然甲州ぶどうを砂糖蜜に落としてしまったのが起源といわれ、甲州ぶどうの甘酸っぱさと砂糖の甘さが絶妙の組み合わせになっている。



うらじろまんじゅう

(甲州市)
日当たりの良い山野に生息するキク科のオヤマボクチの葉を練り込んだまんじゅう。甲州市大和町では、オヤマボクチを葉の裏が白いことから「うらじろ」と呼んでいる。ヨモギとは違った風味がある。



ジビエ料理

(県内全域)
ジビエとは、狩猟により得られた野生鳥獣の食肉のこと。野生鳥獣による農林業被害が深刻な状況の中、捕獲したシカの肉等の料理や加工品など、素材を活用した特産品づくり、地域振興に生かす取り組みが広がっている。県では、やまなしジビエ認証制度を創設し、より安全・安心なシカ肉の流通を推進している。

主な県立施設ガイド

Prefectural Facilities Guide

身障者用駐車場あり
 出入り口平坦またはスロープあり
 車いす対応エレベーターあり
 車いす用観覧席あり
 車いす用トイレあり



県立美術館

1978年の開館以来「ミレーの美術館」として広く親しまれています。ミレーの代表作《種をまく人》《落ち穂拾い》《夏》のほか、バルビゾン派の作家の作品や、山梨ゆかりの作家の作品などを収蔵。年4回テーマを設けて、展示替えを行っています。

甲府市貢川1-4-27 (芸術の森公園内)
TEL 055-228-3322
FAX 055-228-3324



県立文学館

樋口一葉、太宰治、芥川龍之介、飯田蛇笏、飯田龍太など山梨出身・ゆかりの文学者の原稿や愛用品を展示。特に芥川に関しては、全国でも有数のコレクションを誇り「羅生門」をはじめ約5,000枚の下書き原稿を所蔵しています。

甲府市貢川1-5-35(芸術の森公園内)
TEL 055-235-8080
FAX 055-226-9032



県立考古博物館

先人たちの足跡に触れられる考古資料専門の博物館。中でも日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の構成文化財である美しい縄文土器の数々は必見です。館がある曾根丘陵公園内には国史跡の古墳などがあり、専用のARアプリで当時の姿を体感できます。

甲府市下曾根町923 (曾根丘陵公園内)
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882



※平屋建てなのでエレベーターなし



県立博物館

子どもから高齢者まで世代を超えて交流し、歴史と文化を学ぶ場、情報発信の場として平成17年に開館しました。「山梨の自然と人」をテーマに、山梨の豊かな自然と向き合ってきた人々の暮らしの歴史を、分かりやすく展示しています。

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631
FAX 055-261-2632



※平屋建てなのでエレベーターなし



山梨ジュエリーミュージアム

山梨の宝飾産業の歴史や職人たちの卓越した技術を紹介するとともに、その技術によって生み出される美しい宝飾品の数々を展示しています。土・日・祝日には職人による実演や、ジュエリー制作体験(有料)を行っています。

甲府市丸の内1-6-1
山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570
FAX 055-223-1572



米倉山次世代エネルギーPR施設きらっと

環境学習や次世代エネルギーに関する情報提供の場として、地球温暖化をはじめとする環境問題や、太陽光発電などの再生可能エネルギーについて分かりやすく紹介しています。

甲府市下向山町3443-1
TEL 055-269-6685



※平屋建てなのでエレベーターなし



県立科学館

「科学の不思議」を見て、触れて、体験して、学ぶ」をテーマに、体験展示やサイエンスショー、スペースシアターや実験工作などを通じて、楽しみながら科学を体験できます。

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168



リニア見学センター

時速500kmで走行試験する超電導リニアを間近で見学できる日本唯一の施設です。平成15年に世界最高速度を記録した試験車両を展示しているほか、リニアジオラマやミニリニアなど、体験学習機能が充実しています。(リニア走行試験スケジュールはHPにて要確認)

都留市小形山2381
TEL 0554-45-8121
FAX 0554-45-8122



(リニアシアター)



山梨散策

A stroll through Yamanashi

山梨県は、東京圏に隣接しながら、富士山、南アルプスをはじめとする自然景観や、鮮やかに移り変わる四季、さらに豊かな山々と森の息吹に育まれた清らかで良質な水を有する「水と緑の宝庫」です。

また、ブドウ、モモ、スモモに代表される豊かな果物、温泉やワイン、武田信玄ゆかりの史跡や文化財など、特色あふれる地域資源に恵まれています。

山梨県では、これらの素晴らしい魅力を発信し、観光客の誘致や移住・定住者の増加を図っています。



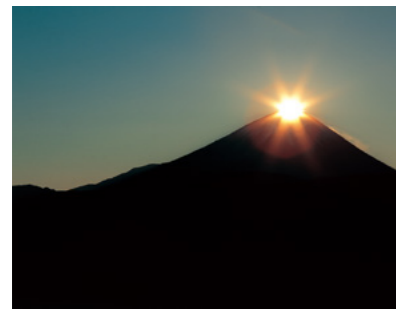
1 尾白川渓谷



2 明野のヒマワリ畑



3 新府桃源郷と南アルプス



4 富士川町高下から望むダイヤモンド富士



5 武田神社



6 猿橋 (日本三奇橋の一つ)



7 河口湖もみじ回廊



8 山中湖に映る逆さ富士

問い合わせ先

- 観光全般に関すること
観光文化政策課 TEL 055-223-3776
- 誘客の促進、国際観光の振興に関すること
観光振興課 TEL 055-223-1557
- 山岳観光、周遊観光の促進に関すること
観光資源課 TEL 055-223-1576
- 県内観光地に関すること
(公社)やまなし観光推進機構
TEL 055-231-2722



武田菱丸
(富士の国やまなし
観光キャラバン隊長)



富士の国やまなし
観光ネット

山梨県へのアクセス

甲府方面

●お車でお越しの場合

東京方面から	高井戸IC	中央自動車道	約1時間20分	甲府昭和IC				
神奈川方面から	横浜市方面	海老名JCT	圏央道	約20分	J8C	中央自動車道	約1時間	甲府昭和IC
埼玉方面から	園田鶴ヶ島IC	圏央道	約30分	J8C	中央自動車道	約1時間	甲府昭和IC	
長野方面から	松本IC	長野道	約20分	岡谷JCT	中央自動車道	約50分	甲府昭和IC	
愛知方面から	名古屋IC	中央自動車道	約3時間	甲府昭和IC				
静岡方面から	新清水JCT	中部横断自動車道	約1時間	双葉JCT	中央自動車道	約10分	甲府昭和IC	
	御殿場IC	国道138号	須走IC	東富士五湖道路	約1時間	甲府昭和IC		

●電車でお越しの場合

東京方面から	新宿駅	JR中央本線	約1時間30分	甲府駅
長野方面から	松本駅	JR中央本線	約1時間	甲府駅
静岡方面から	静岡駅	JR身延線	約2時間20分	甲府駅

身延方面

●電車でお越しの場合

東京方面から	新宿駅	JR中央本線	約1時間30分	甲府駅	JR身延線	約1時間	身延駅
静岡方面から	静岡駅	JR身延線	約1時間20分	身延駅			

河口湖方面

●お車でお越しの場合

東京方面から	高井戸IC	中央自動車道	約1時間10分	河口湖C					
	東京IC	東名高速	約1時間	御殿場IC	須走道路	御殿場バイパス	約20分	富士吉田IC	
愛知方面から	名古屋IC	東名高速・新東名高速	約2時間10分	1新C	御殿場	須走道路	御殿場バイパス	約5分	富士吉田IC
静岡方面から	静岡IC	東名高速・新東名高速	約50分	御殿場	須走道路	御殿場バイパス	約5分	富士吉田IC	

●電車でお越しの場合

東京方面から	新宿駅	JR中央本線	約1時間	大月駅	富士急行線	約50分	河口湖駅
--------	-----	--------	------	-----	-------	------	------